

学生生活実態調査報告書

令和4年度

新潟大学大学教育委員会

学生支援専門委員会

学生生活実態調査報告書の刊行に当たって

学生生活実態調査は、本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することで、本学学生に対する福利厚生、修学支援、課外活動支援等の施策立案や改善を行うための情報収集を目的としています。調査は、平成6年度から4年ごとに実施し、今回の調査で8回を数えます。

前回平成30年度の調査以降、今回の調査対象となる4年間のうち令和2年度以降は、いうまでもなく、新型コロナウイルス（COVID-19）に翻弄された3年間でした。そして、この3年間は、大学の様々な機能を発揮、維持することに学生、教職員が挑み続けた日々でした。本学では、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策本部」を令和2年2月27日に立ち上げ、本学の活動状況を検討しながら、対策を進めてきました。学生生活に関わる対策として、授業・実習、課外活動、キャンパス内への入構、図書館の利用、海外留学・旅行及び国内異動の項目ごとに感染レベル等に応じた「新潟大学における新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針」をわかりやすく整理しました。また、修学・学生生活支援のため、オンラインによる授業の実施とそれを可能にする修学環境の整備はいうまでもなく、新型コロナ対策緊急学生サポートパッケージとして、既存の授業料免除や奨学金に加え、Wi-Fiルーターの貸出、新型コロナ対策緊急支援金（貸与）、修学応援・生活支援金（給付）、学生自立支援（アルバイト提供）及び図書館学習サポーターによる学習相談を実施するとともに、学生が何でも気軽に相談することができる窓口を設置しました。

今回の調査結果は、これらコロナ禍でのキャンパライフとその支援を反映したものと考えられます。全体的な傾向として、課外活動施設、福利厚生・共通施設、屋外環境施設、図書館及びICT環境は比較的高い満足度でした。一方、休憩場所がないことや施設の一部老朽化（キャンパス間の格差）について、検討を要する要望も多く見受けられました。

また、本調査に対する学生からの回答率は、前回調査時よりも向上しましたが、次回の調査時においても回答率のさらなる向上に向けて検討をする必要があります。もちろん、“コロナ後の日常”を意識しながら、今回明らかになった学生の要望への対応が今後重点的に取り組むべき課題となります。

最後になりますが、今回の調査実施にあたって、多忙な時間を割いて調査を担当された大学教育委員会学生生活実態調査専門部会（吉森 明 部会長）の委員ならびに学務部の事務担当者そしてアンケートに協力していただいた学生の皆様のご協力とご尽力に感謝し、心から御礼申し上げます。

令和5年6月

副学長（学生支援・就職支援担当）

箕 口 秀 夫

目 次

序 章	調査の概要	
	1 調査の目的	1
	2 調査の組織	1
	3 調査の対象	1
	4 調査の時期	1
	5 調査の方法	2
	6 回答状況	2
	7 調査項目と集計方法	3
第1章	所属学部・研究科について	
	1 所属学部・研究科	3
第2章	住居・運転免許の有無・食事について	
	1 住居所在	5
	2 運転免許の有無	6
	3 食事	7
第3章	収入・支出について	
	1 奨学金の受給者数	10
	2 奨学金の受給額	11
	3 家計支持者からの援助	12
	4 アルバイト収入	13
	5 その他の収入	14
	6 住居費	15
	7 食費	16
	8 勉学費	17

	9 娯楽・被服費	18
	10 その他雑費	19
	11 預貯金	20
第4章	アルバイトについて	
	1 アルバイトの経験	21
	2 アルバイトの時間	22
	3 ブラックバイトについて	23
第5章	課外活動について	
	1 サークルの加入状況	24
	2 サークルに加入した理由	25
	3 サークル活動の時間	26
	4 課外活動施設の満足度	27
第6章	健康・悩み事について	
	1 喫煙と使用しているタバコの種類	28
	2 大学の敷地内での受動喫煙	29
	3 飲酒頻度	30
	4 現在、悩んでいること	31
	5 二番目に悩んでいること	32
	6 三番目に悩んでいること	33
	7 ハラスメントについて	34
	8 ハラスメントの種類について	35
	9 学生なんでも相談窓口について	36
	10 相談窓口について	37
	11 悪徳商法、詐欺などの被害について	38

第7章	大学生活について	
1	学業以外（サークル活動、アルバイトを除く）の過ごし方	39
2	外国旅行	40
3	読書（漫画、雑誌を除く）の1か月の本の購入金額	40
4	大学生活に満足しているか	41
5	新潟大学の魅力	41
第8章	大学の施設・設備	
1	施設の広さや機能（質）の満足度	42
2	図書館の利用頻度、利用目的及び満足度	44
3	ICT環境（インターネット、メール等）	47
4	施設等に対する不満	47
第9章	大学に対する意見・要望について	
1	大学全般に関わるもの	50
2	学部・研究科に関わるもの	51
3	教育・研究に関わるもの	51
4	課外活動に関するもの	54
5	事務職員の対応に関わるもの	55
6	施設の整備、利用に関わるもの	55
7	福利・厚生に関わるもの	57
8	本アンケートに関わるもの	57
9	その他	58
○	令和4年度 学生生活実態調査調査票	60

序 章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本学学生に対する福利厚生、修学支援、課外活動支援等の施策立案及び改善を行うために必要な本学学生の日常生活上の意識及び生活実態に関する情報収集を目的として実施した。

2 調査の組織

新潟大学大学教育委員会学生支援専門委員会の下に学生生活実態調査専門部会を設け、令和4年2月28日に発足した同専門部会が作業にあたった。

	氏 名	所属・職名	執筆章
部会長	吉森 明	自然科学系（理学部）・教授	序 章・第9章
委 員	田中 恒彦	人文社会科学系（教育学部）・准教授	第1章・第2章
委 員	上村 都	人文社会科学系（法学部）・教授	第3章
委 員	鈴木 有祐	自然科学系（大学院自然科学研究科）・准教授	第4章・第5章
委 員	佐藤 弘恵	保健管理センター・准教授	第6章
委 員	油谷 元規	保健管理センター・講師	第6章
委 員	住吉 智子	医歯学系（医学部保健学科）	第7章
委 員	山村 健介	医歯学系（大学院医歯学総合研究科（歯））・教授	第8章
委 員	五島 讓司	教育基盤機構・准教授	データ分析

3 調査の対象

令和4年10月1日現在で在籍する学部学生及び大学院学生全員を対象に調査を行った。ただし、次の(1)から(4)までのいずれかに該当する者は対象外とした。

- (1) 休学者
- (2) 外国人留学生
- (3) 経済学部（夜間主コース）の学生
- (4) 大学院教育実践学研究科（専門職学位課程）の学生

4 調査の時期

調査は、当初、令和4年11月1日から令和4年11月30日まで（以下「当初期間」という。）として実施したが、本調査の回答率向上を目的として、令和4年12月1日から令和4年12月31日まで（以下「第1延長期間」という。）及び令和5年1月10日から令和5年1月17日まで（以下「第2延長期間」という。）期間を延長して実施した。

5 調査の方法

Google Formsを利用したWeb入力とした。

調査対象学生への調査の協力依頼については、当初期間及び第1延長期間については学務情報システムの「連絡通知」機能を利用して全調査対象学生へ、第2延長期間については調査対象学生が所属する学部又は研究科から当該調査対象学生へ調査の協力を依頼した。

6 回答状況

回答者総数は1,438人（回答率12.7%、前回調査の回答者総数は1,033人）で、内訳としては、学部学生1,242人（回答率12.8%）、大学院生195人（回答率11.9%）であった。詳細は下表のとおりである。なお、前回調査の回答率は9.0%であり、それと比べると今回の回答率は増加している。これは、12月の第1延長期間終了時の集計で、回収率が10.6%と若干低かったため、委員から再調査の提案があり、第2延長期間を設定したのが原因の一つと考えられる。

また、今回、大学院生については回答の絶対数が少数であるため、以下各所の記述は、概ね学部生の回答に組み込んでの分析に基づき行われている。

学生生活実態調査 学部・研究科別対象者数及び回答状況一覧

所属	対象者数	回答者数	回収率
人文学部	916人	133人	14.5%
教育学部	799人	104人	13.0%
法学部	733人	119人	16.2%
経済学部（夜間主コースは除く。）・経済科学部	1,348人	149人	11.1%
理学部	865人	104人	12.0%
医学部医学科	773人	83人	10.7%
医学部保健学科	655人	106人	16.2%
歯学部	351人	47人	13.4%
工学部	2,221人	236人	10.6%
農学部	736人	119人	16.2%
創生学部	274人	42人	15.3%
学部計	9,671人	1,242人	12.8%
大学院現代社会文化研究科（前期課程）	56人	11人	19.6%
大学院自然科学研究科（前期課程）	976人	103人	10.6%
大学院保健学研究科（前期課程）	46人	10人	21.7%
大学院医歯学総合研究科（医）（修士課程）	25人	10人	40.0%
大学院医歯学総合研究科（歯）（前期課程）	7人	3人	42.9%
大学院（修士課程・博士前期課程）	1,110人	137人	12.3%
大学院現代社会文化研究科（後期課程）	41人	6人	14.6%
大学院自然科学研究科（後期課程）	96人	19人	19.8%
大学院保健学研究科（後期課程）	34人	2人	5.9%
大学院医歯学総合研究科（医）（博士課程）	270人	10人	3.7%
大学院医歯学総合研究科（歯）（後期課程）	13人	2人	15.4%
大学院医歯学総合研究科（歯）（博士課程）	80人	19人	23.8%
大学院（博士課程・博士後期課程）	534人	58人	10.9%
その他	-	1人	-
合計	11,315人	1,438人	12.7%

7 調査項目と集計方法

設問は全部で36問あり、これらについて単純集計を行った。また、問14、問18、問28、問29、問32、問33、問34、問35、問36及び最後に自由記述欄を設けた。(具体的調査項目については、P60～P63に掲載)

第1章 所属学部・研究科について

1-1 所属学部・研究科

新潟大学全学生に対して、Google Forms を利用した Web 入力によるアンケート調査が実施された。総回答率は前回の 9.02% から微増し、12.7% となった。全回答者数 (N=1438) のうち、学部学生の回答者数が 86.4%、大学院生の回答者数が 13.6% と、大学院生の回答者数が非常に少なかった。このことから大学院生の回答については、修士課程・博士前期課程と博士課程・博士後期課程を合計した回答者数で分析を行った。

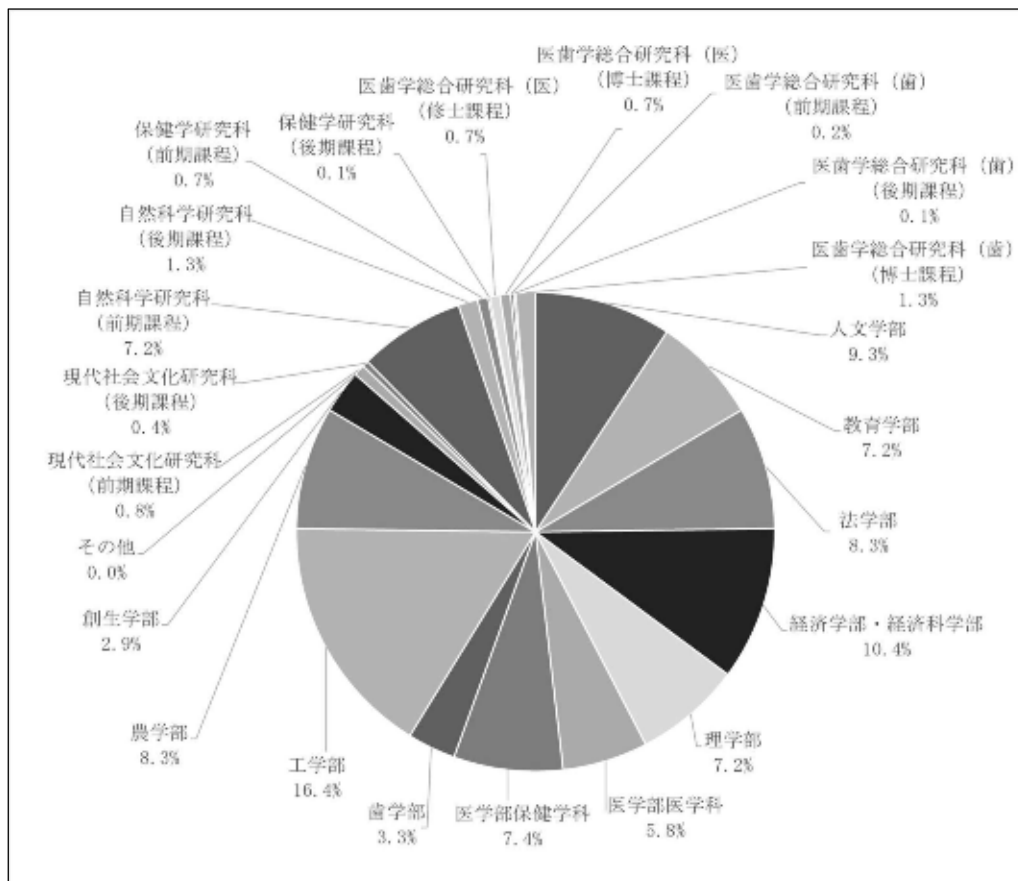


図 1-1 全回答者の所属 (割合)

図 1-1 は、全回答者のなかで、各学部・研究科に占める割合を示したものである。各学部・研究科で在籍学生数に対する回答者数の割合でみて、回答率が高かったのは、工学部が 18.4%、次いで経済学部・経済科学部が 10.4%と大きな値を占めていた。これには、工学部と経済学部・経済科学部の 2 学部が学生数が多いことが影響していると考えられた。そこで、在籍者数を考慮に入れて回答者の割合を比較してみることにした。

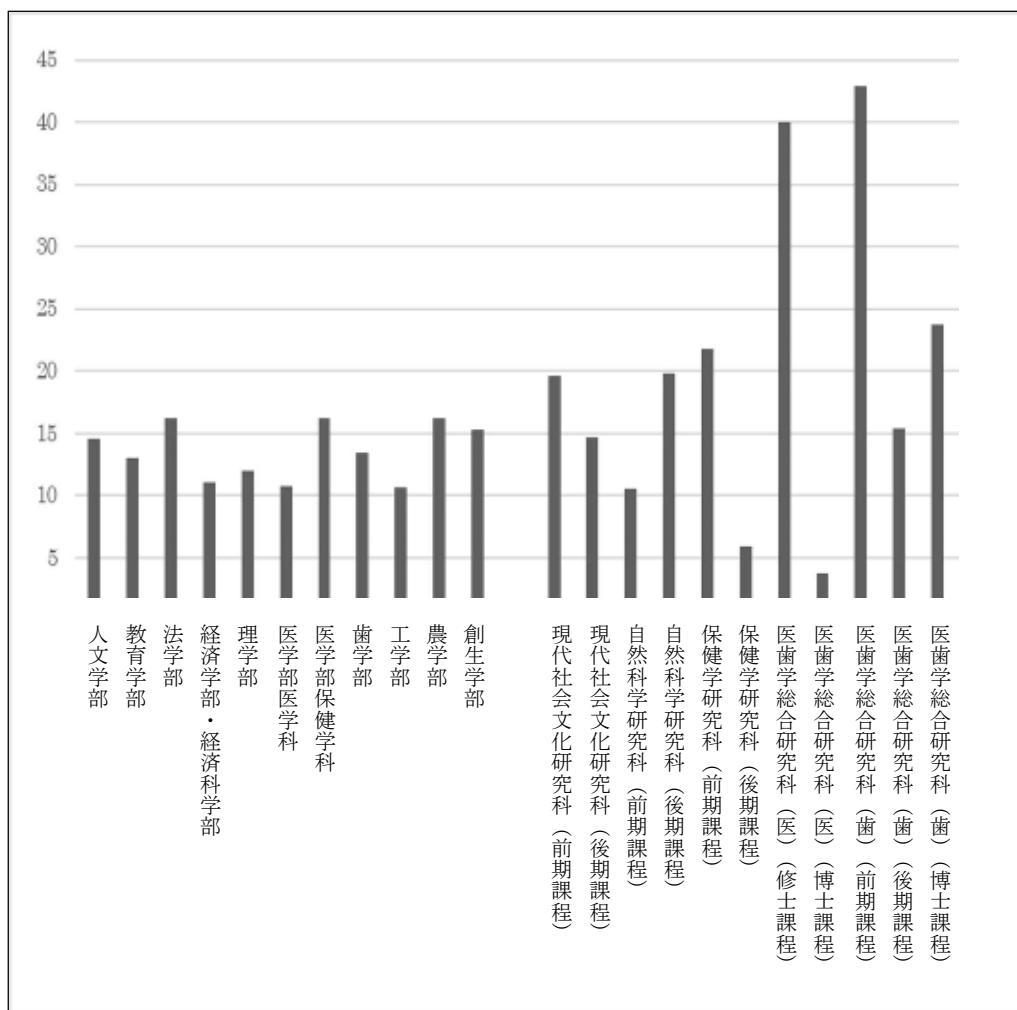


図 1-2 回答者数/在籍者数の割合

図 1-2 は、実際に調査に回答した学生数が、各学部・研究科の在籍学生数に占める割合を示したものである。各学部・研究科で在籍学生数に対する回答者数の割合でみて、回答率が高かったのは、学部では、法学部、医学部保健学科、医学部保健学科がともに 16.2%であった。大学院では医歯学総合研究科 (歯) (前期課程) 42.9%、医歯学総合研究科 (医) (修士課程) 40.0%であった。人数の少ない大学院では回答者にばらつきが生じたものの、学部についてはそれぞれ 10~15%程度の回答率であったことが明らかになった。

第2章 住居・運転免許の有無・食事について

問2～問4-3では、住居、運転免許の有無、食事に関する質問を行った。以下それぞれについて結果を記す。

2-1 住居所在

学生の住居所在については、図2-1のとおりであった。

実家に居住する学生は306人（21.3%）、実家とは別の住居に居住する学生は1,132人（78.7%）であった。

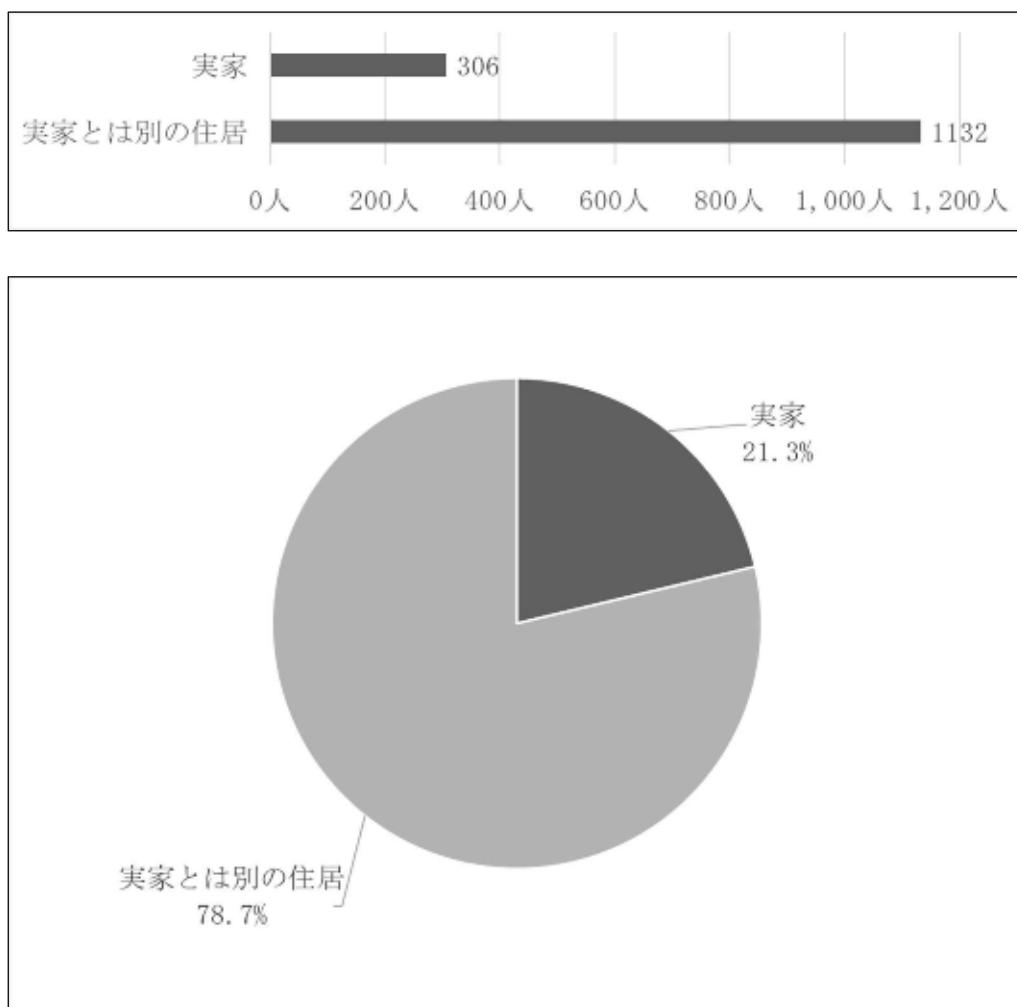


図 2-1 住所の所在

2-2 運転免許の有無

前回調査は、自動車の所有や通学に関しても質問を行ったが、今回の調査では運転免許の有無についてのみ質問を行った。結果について図2-2に示す。回答した学生のうち1,179人（82.0%）が運転免許を取得していた。運転免許を取得していないのは259人（18.0%）であった。

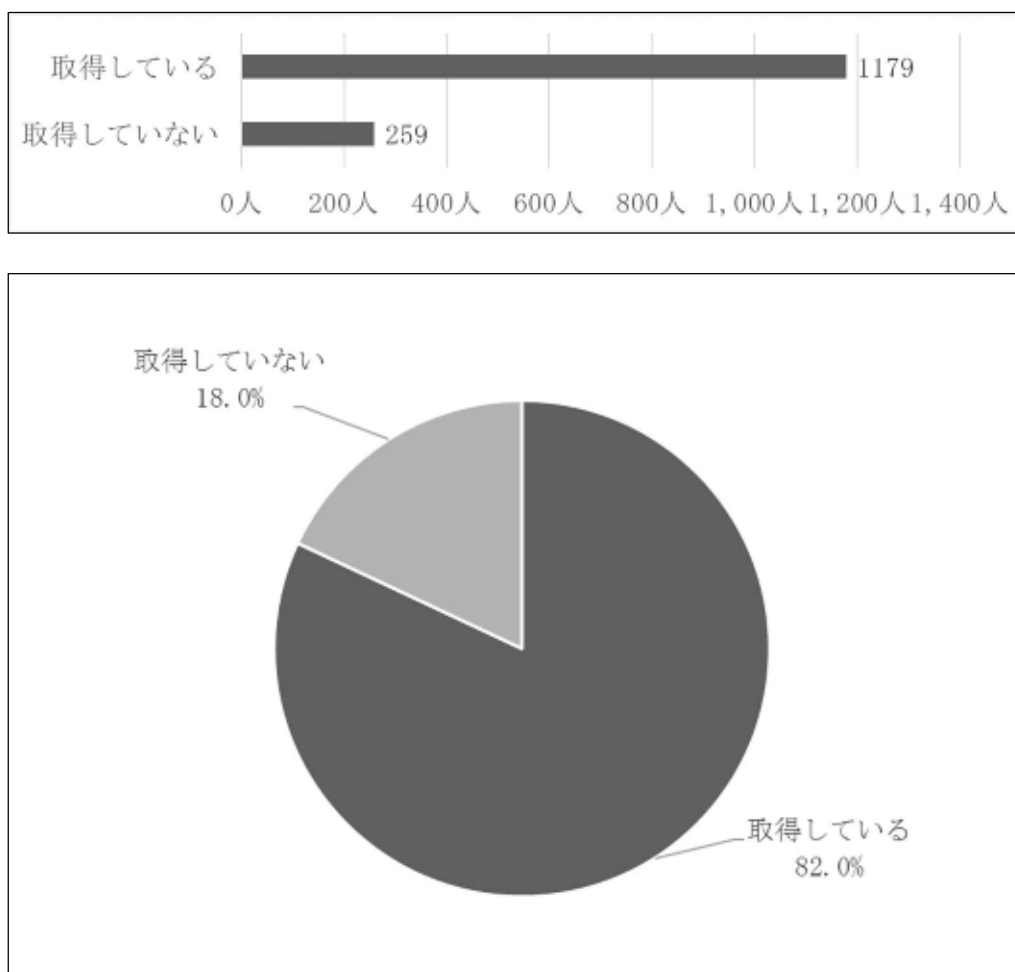


図 2-2 運転免許の有無

2-3 食事

何らかの方法で朝食をとると答えた学生は75.4%であった。一方、朝食をとらない学生は、23.8%であり、平成30年度の前回調査（18.7%）よりも5%ほど増加していた。

朝食を自炊でとる学生は、704人（49.0%）で、住居で提供がある（家族が用意している、食事を提供する住居に住んでいる）者は298人（20.7%）であった。テイクアウト（スーパー、コンビニ、持ち帰り専門店など）を利用している者は5.7%、学食の利用、学外の飲食店の利用はそれぞれ0.1%、その他0.6%であった。

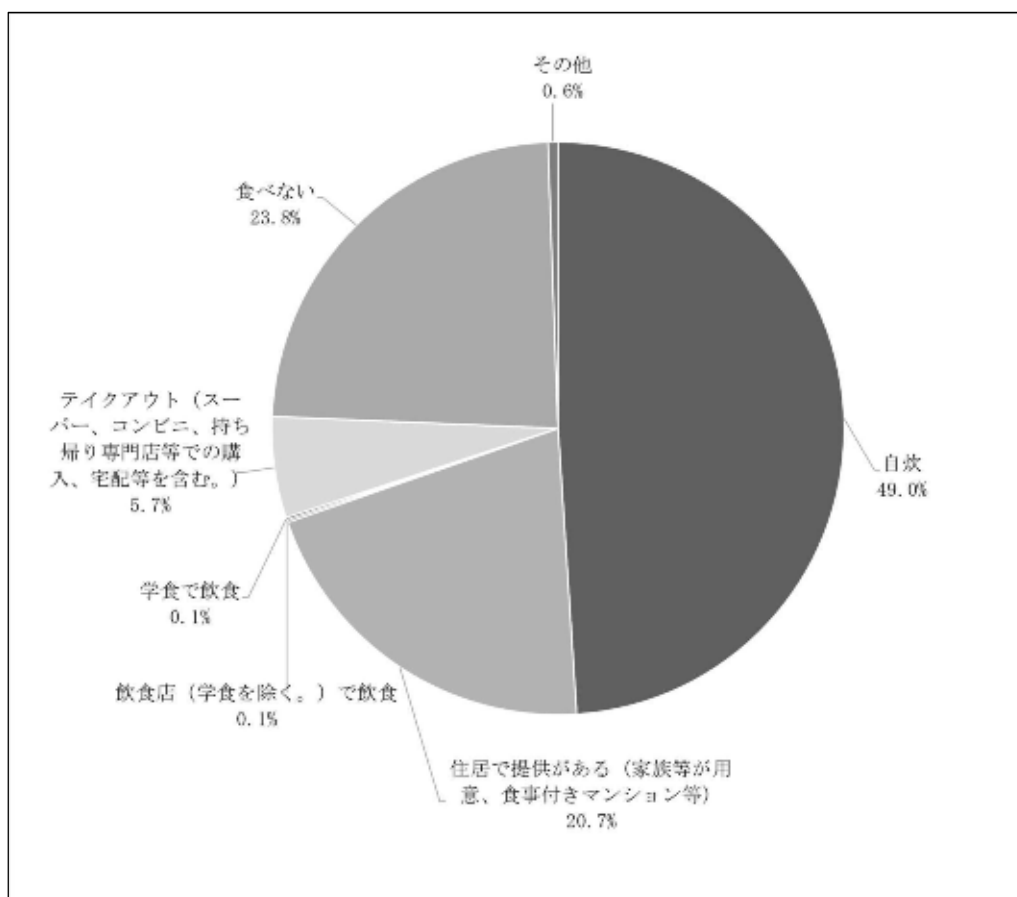


図2-3 朝食の実態

昼食については自炊する学生の割合が45.1%で最も高くなっていたのに対して、学食でとる学生の割合は21.4%、学外の食堂等を利用する割合は3.0%と大幅に下落していた。これは新型コロナウイルス感染症流行下であった事が影響していると考えられる。一方で、住居で提供があるものは7.9%と前回調査よりもこちらも大幅に低下していた。

そのほか、テイクアウト（スーパー、コンビニ、持ち帰り専門店など）を利用している学生は18.8%、その他が1.2%であった。昼食をとらない学生が前回調査よりも3%以上増加して4.8%存在することが明らかになった。

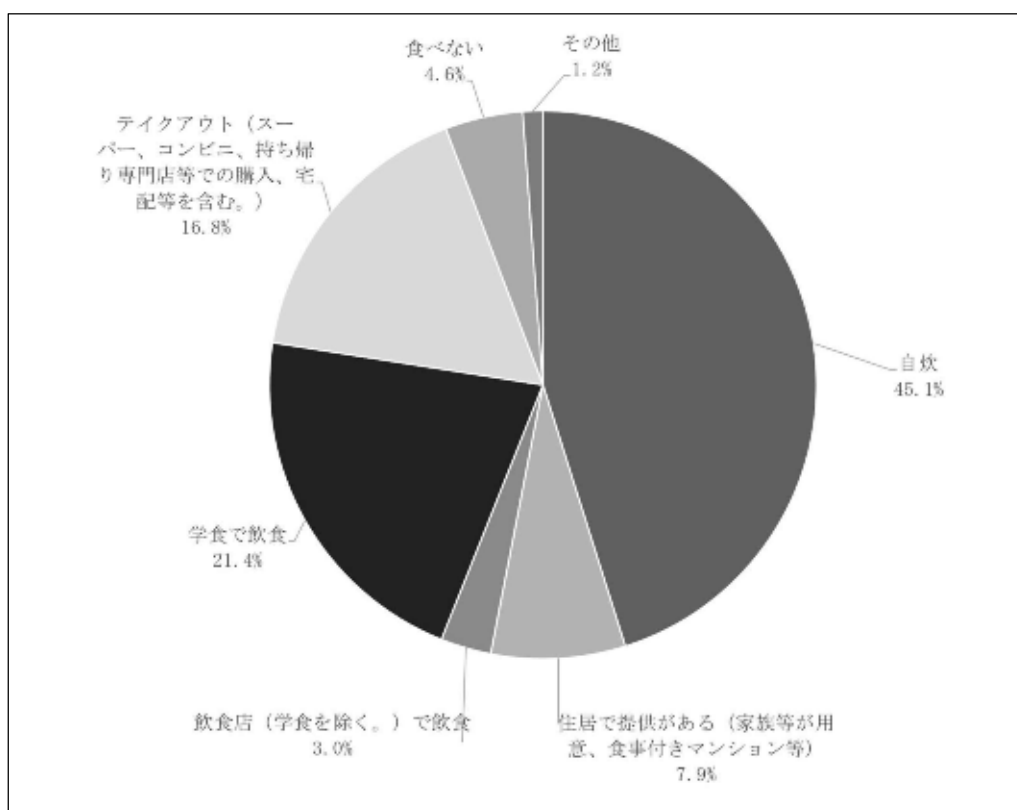


図2-4 昼食の実態

第3章 収入・支出について

問5～問7-6では、収入・支出に関する質問を行った。以下、それぞれについて結果を記す。

3-1 奨学金の受給者数

全回答数1,438人のうち、奨学金を受給していると回答した者の数は640人、奨学金を受給していないと回答した者の数は798人であった。全回答数に占める奨学金の受給者の割合は、44.5%であった。

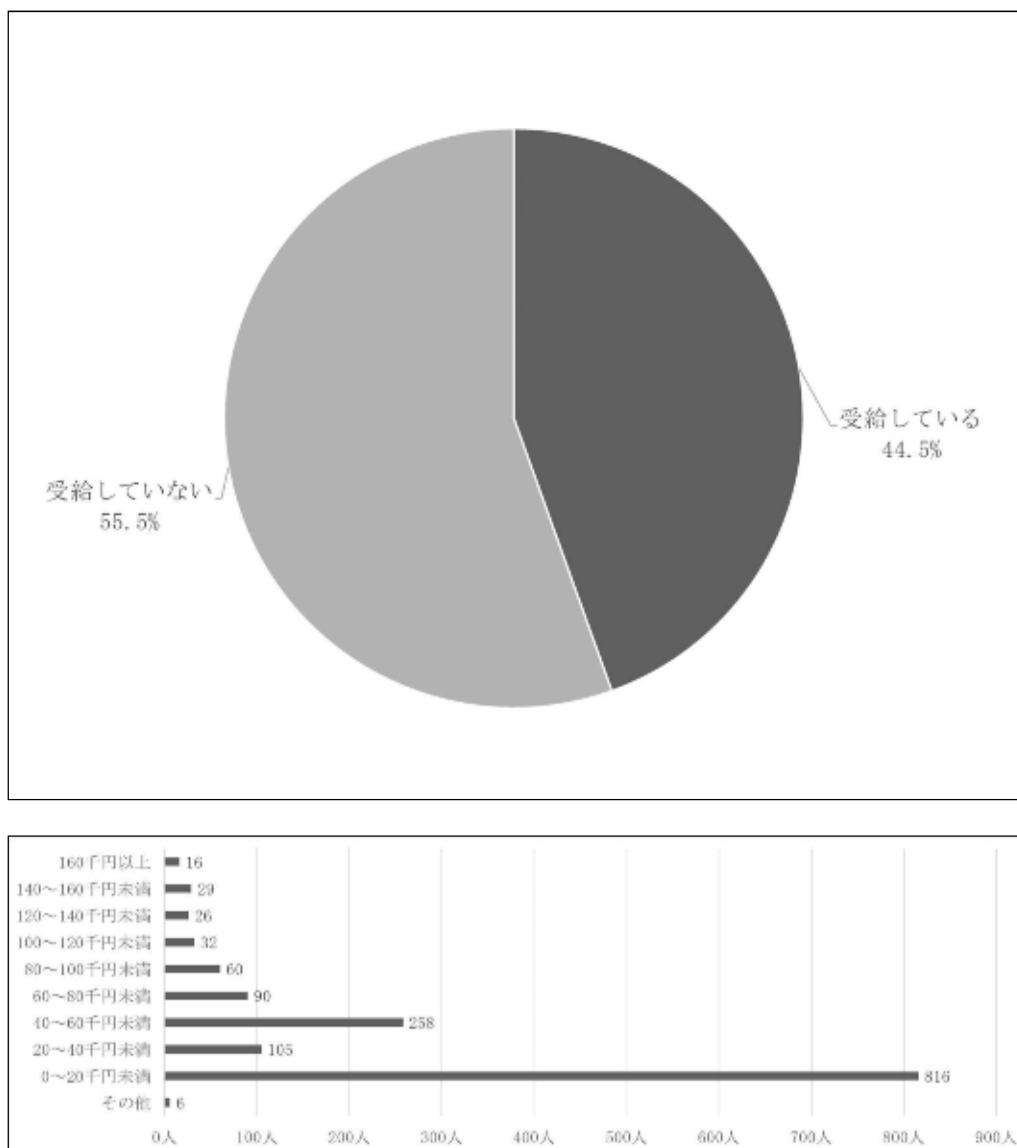


図3-1 奨学金の受給者数

3-2 奨学金の受給額

全回答者数1,438人のうち、奨学金の受給額が0～20千円未満と回答した者の人数は816人で最も多く、全体の56.7%を占めている。次いで、40～60千円未満と回答した者258人となっている。奨学金受給額の平均は、64,259円であった。最も高い額は270,000円、最も低い額は3,000円であった（なお、受給額を10,000千円、1,800千円とする記載があったが、単位を誤っている可能性があるものと思われるためデータから削除した。）。

平成30年度の調査では、受給している奨学金の平均金額は56.8千円、最も低い額は20千円、最も高い額は195千円であった。平成30年度に比べ、受給額の平均金額が増加している。

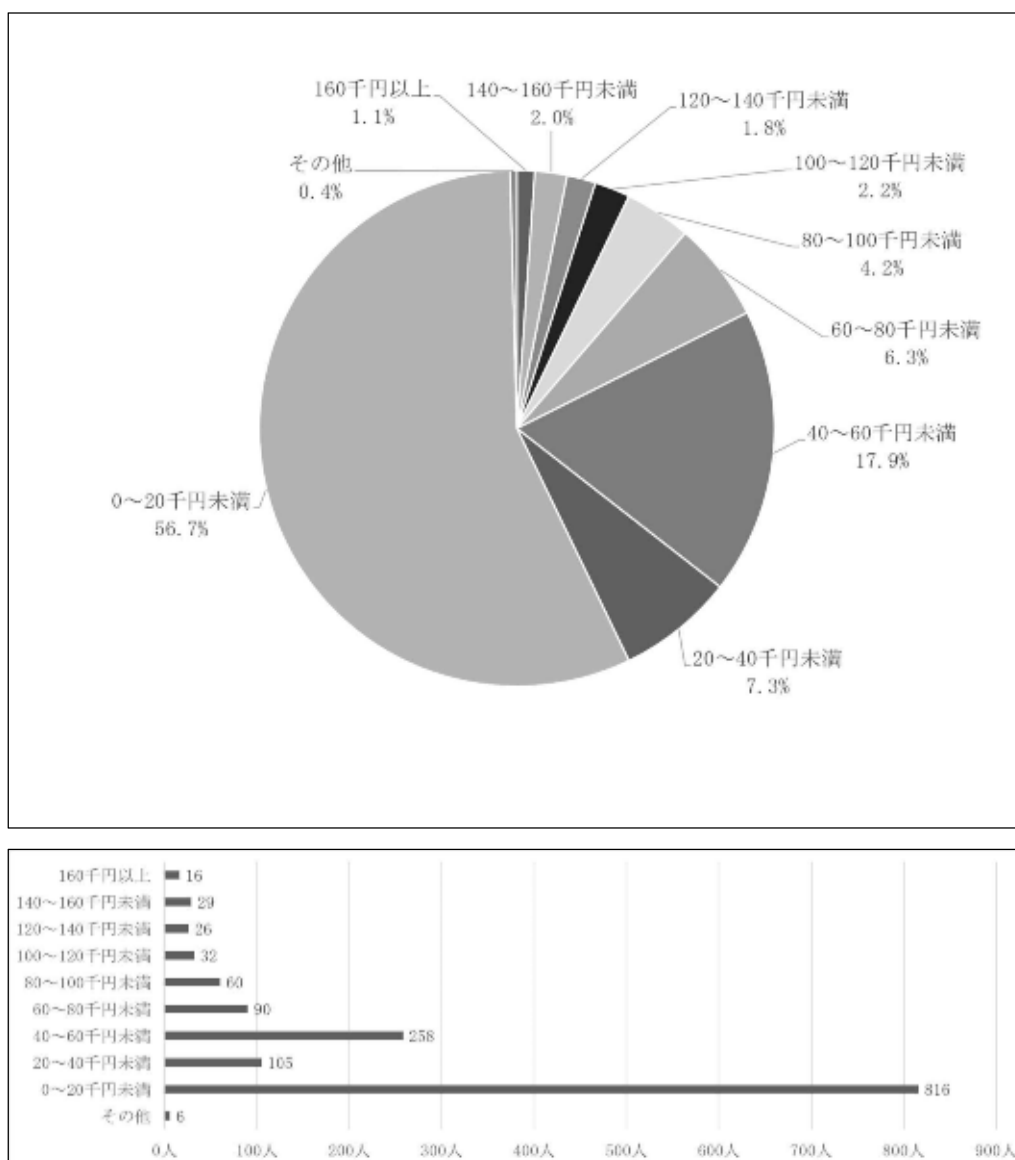


図3-2 奨学金の受給額

3-3 家計支持者からの援助

全回答者数1,438人のうち、家計支持者からの援助額が50～69千円と回答した者の人数は251人、30～49千円は231人、10～29千円は204人で、約半数の学生が10～69千円の援助を受けている。他方、家計支持者からの援助額が0円は395人で、全体の27.5%であった。家計支持者からの援助額の平均は53,495円、最も低い額は1,000円であった。

平成30年度の調査では、家計支持者からの援助額の平均金額は54.6千円であり、家計支持者からの援助が無いと答えた学生は、25.5%であった。平成30年度に比べ、家計支持者からの援助額の平均金額はほぼ横ばいであるが、家計支持者からの援助がない学生の割合は25.5%から27.5%へと若干増加している。

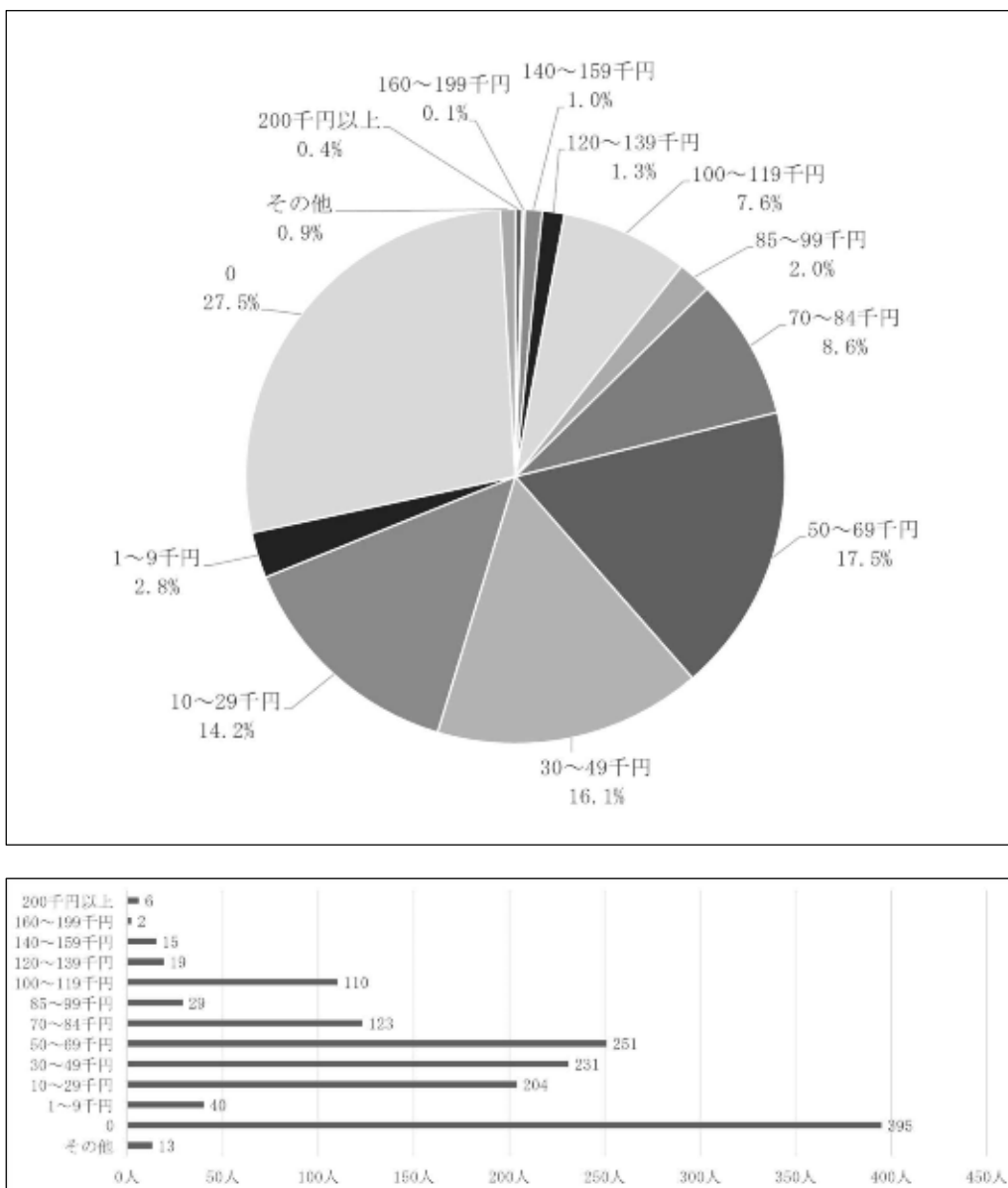


図3-3 家計支持者からの援助

3-4 アルバイト収入

1か月平均でのアルバイト収入についてのアンケート結果は以下の通りである。1か月平均でのアルバイト収入30～49千円と回答した者の数は357人で最も多く、次いで、10～29千円が244人、50～69千円が224人となっている。アルバイト収入の平均は、46,203円である。最低の額は、1,000円となっている。

平成30年度の調査では、家庭教師による平均収入は23.9千円、家庭教師以外のアルバイト収入の平均額は36.8千円であった。アルバイト収入は増加している。

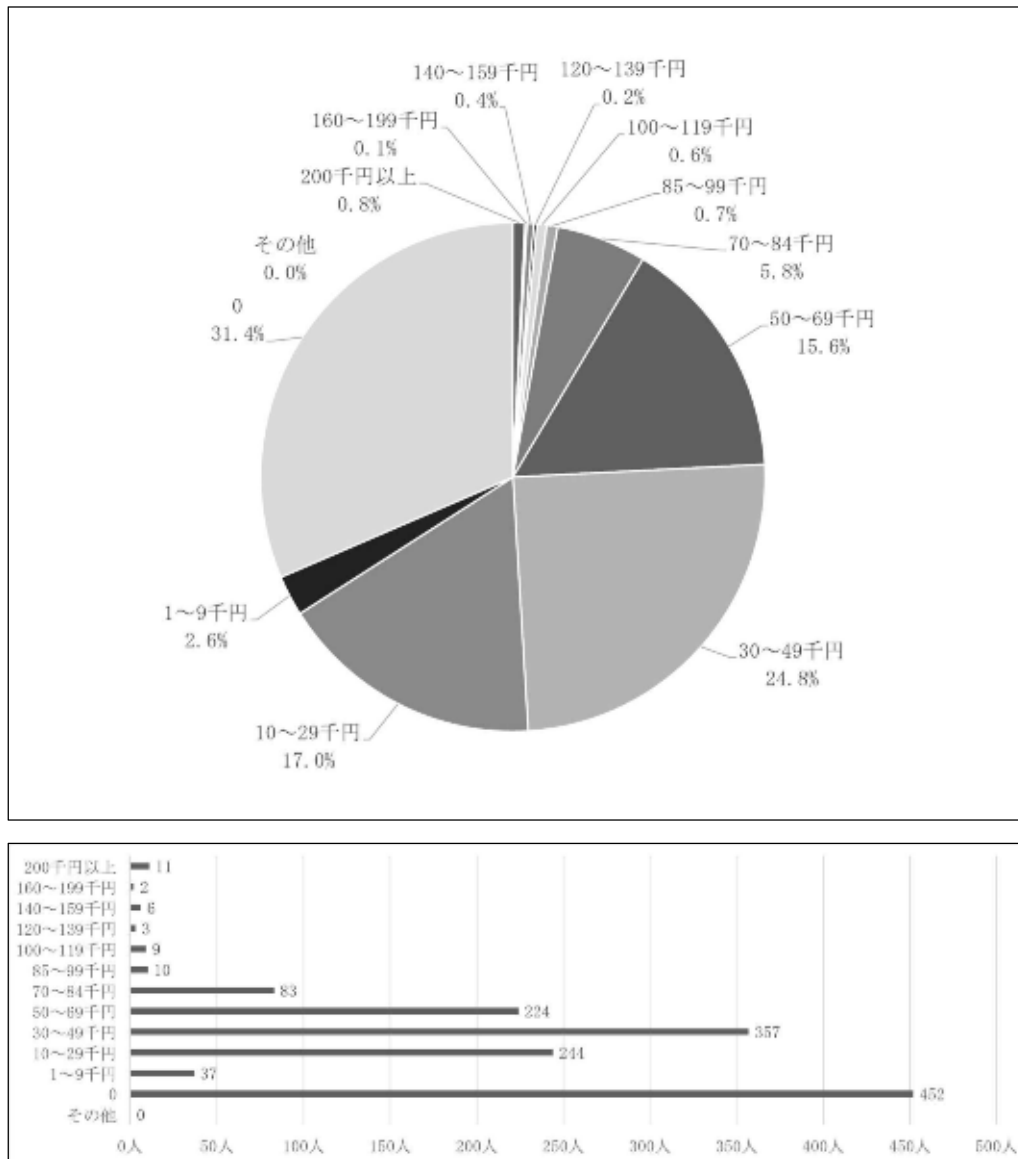


図3-4 アルバイト収入

3-5 その他の収入

全回答者数1,438人のうち、その他の収入がないと回答した者の数は、1,271人（88.4%）であった。200千円以上の回答が28人、1～29千円の回答は83人であった。平成30年度の調査では、約90.3%の学生がその他の収入を0円と回答しており、ほぼ横ばいである。

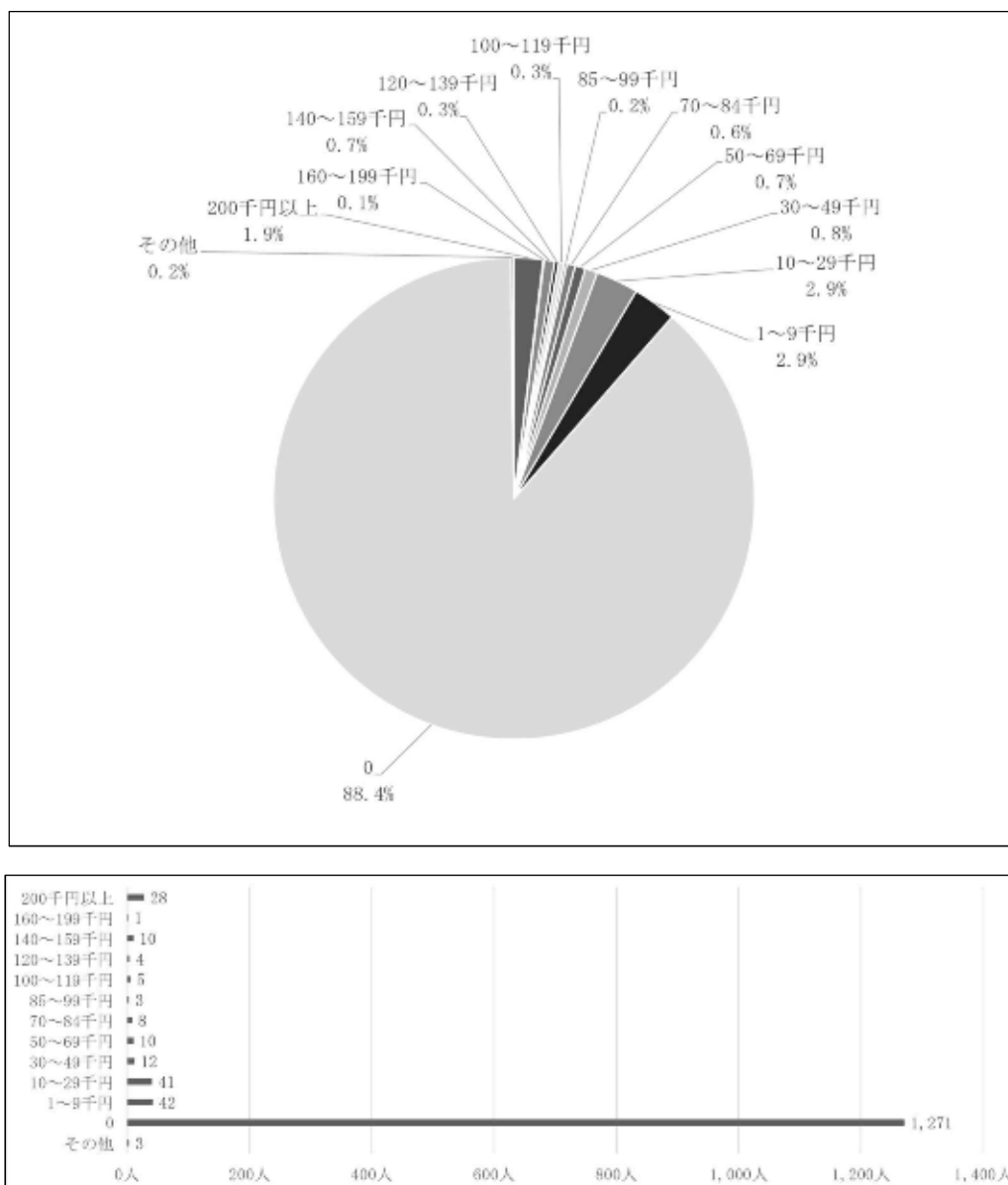


図3-5 その他の収入

3-6 住居費

住居費の1か月の平均支出額についてのアンケート結果は以下の通りである。住居費の平均は、44,510円であった（なお、住居費を50万円以上とする記載があったが、単位を誤っている可能性があるものと思われるためデータから削除したうえで平均を算出した。）。回答者が最も多い価格帯は、3万円～4.9万円であり、回答数は523人であった。3万円台と回答した者の数は245人、4万円台が278人、5万円台が206人であった。

平成30年度の調査では、学生の住居費の1か月の平均額は38.9千円、1か月の住居費として最も多くの学生が支出している額は40千円で113人、次いで30千円が99人、35千円が42人であった（全回答数1,033人）。平成30年度と比較して、住居費が高くなっている。

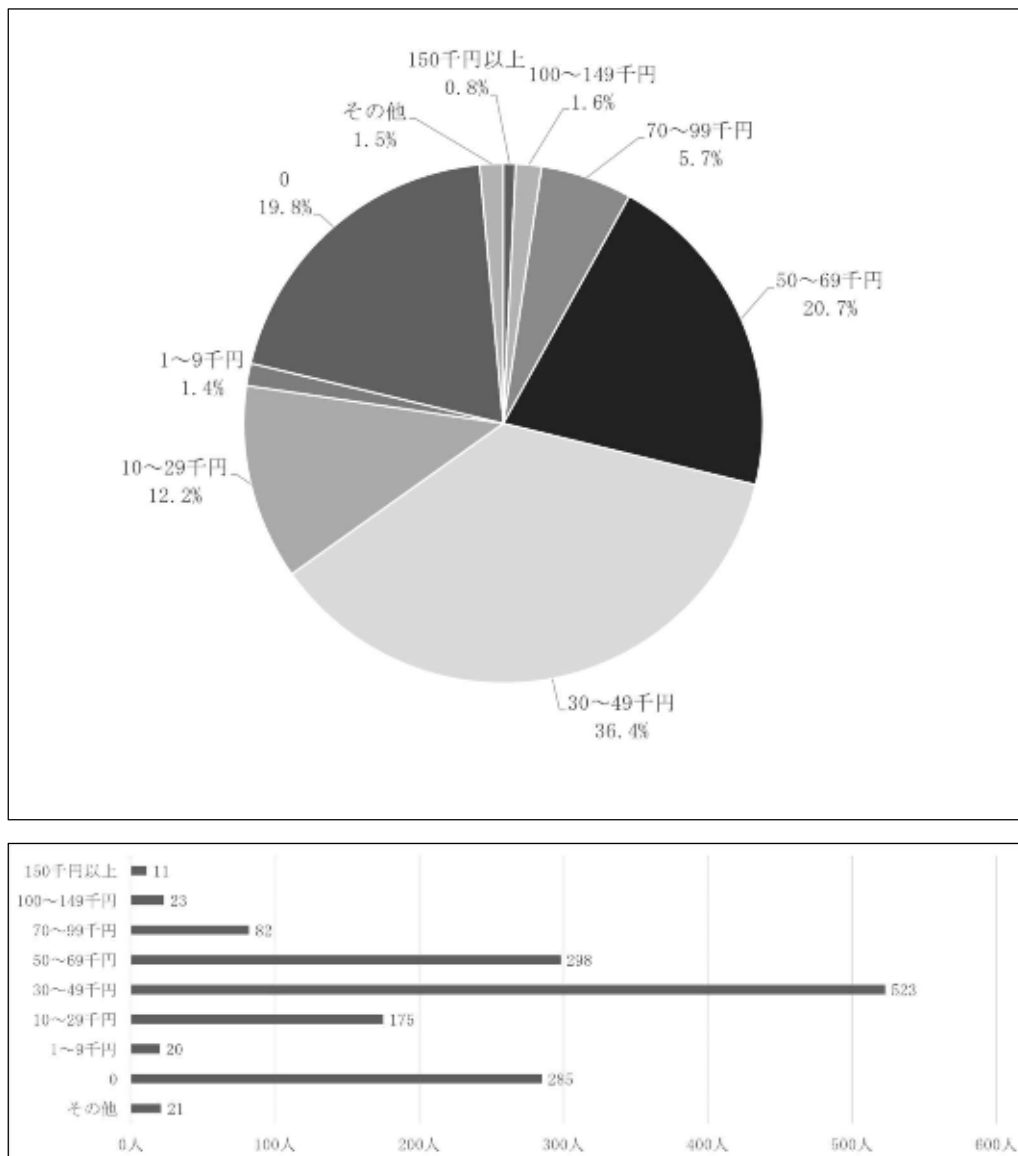


図3-6 住居費

3-7 食費

食費の1か月の平均支出額についてのアンケート結果は以下の通りである。1万円～2.9万円と回答した者の数は、782人と最も多く、全体の54.4%を占めている。次いで、3万円～4.9万円が372人で、全体の25.9%となっている。1か月の食費の平均は、22,573円であった。

平成30年度の調査では、1か月の食費の平均額は25.0千円であり、1か月の食費として最も多くの学生が支出している額は30千円で242人、次いで20千円が192人、40千円が116人であった。1か月の食費として最も多くの学生が支出している額はあまり変化が見られないものの、1か月の食費の平均額は減少している。

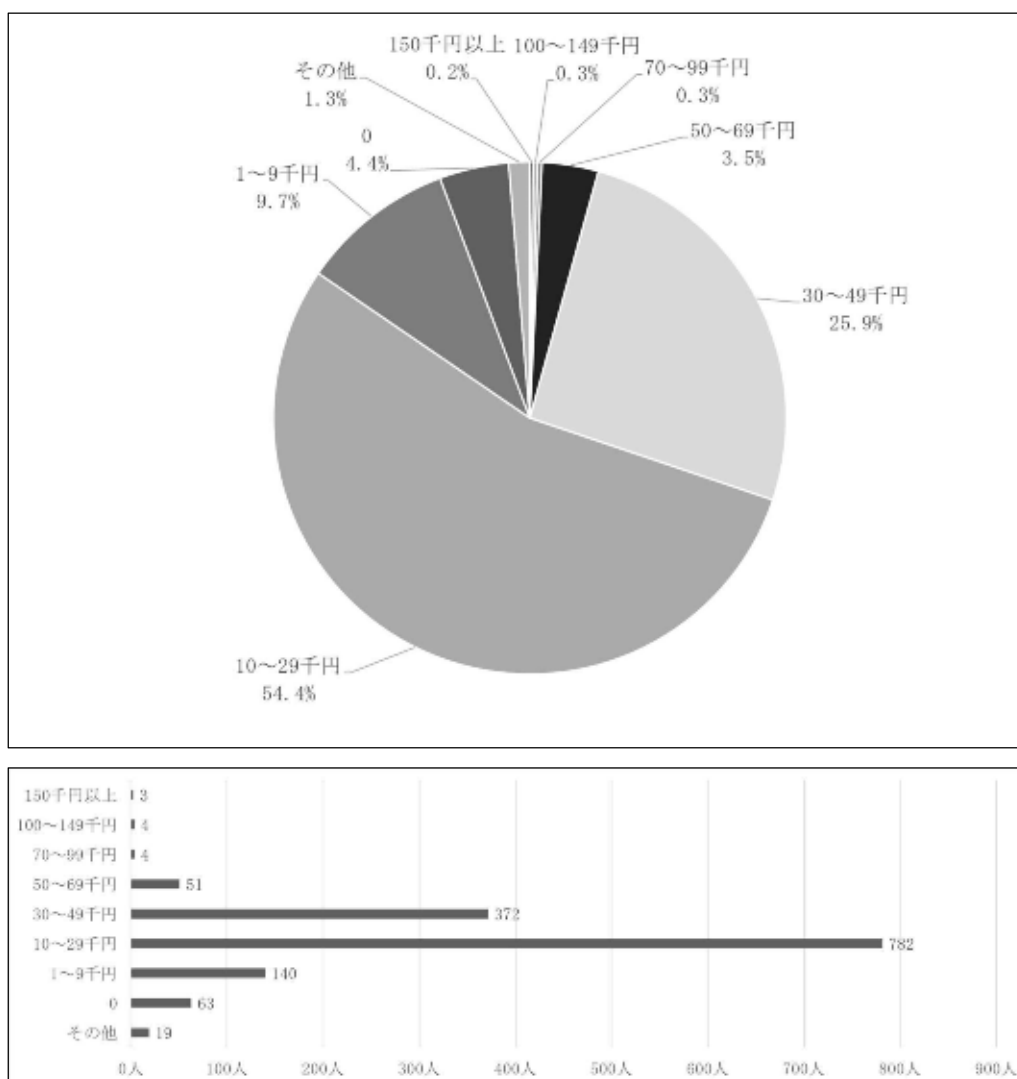


図3-7 食費

3-8 勉学費

勉学費の1か月の平均支出額についてのアンケート結果は以下の通りである。1千円～9千円と回答した者の数は、821人と最も多く、全体の57.1%を占めている。次いで、1万円～2,9万円が280人で、全体の19.5%、0円と回答した者の数は269人で、全体の18.7%であった。1か月の勉学費の平均は、7,401円であった（なお、勉学費を300万円とする記載があったが、単位を誤っている可能性があるものと思われるためデータから削除したうえで平均を算出した。）。

平成30年度の調査では、1か月の勉学費の平均額は8.9千円であり、1か月の勉学費として最も多くの学生が支出している額は10千円で233人、次いで5千円が229人、1千円が94人であった。1か月の勉学費の平均額は、平成30年度に比べ、大きく下回っているように思われる。

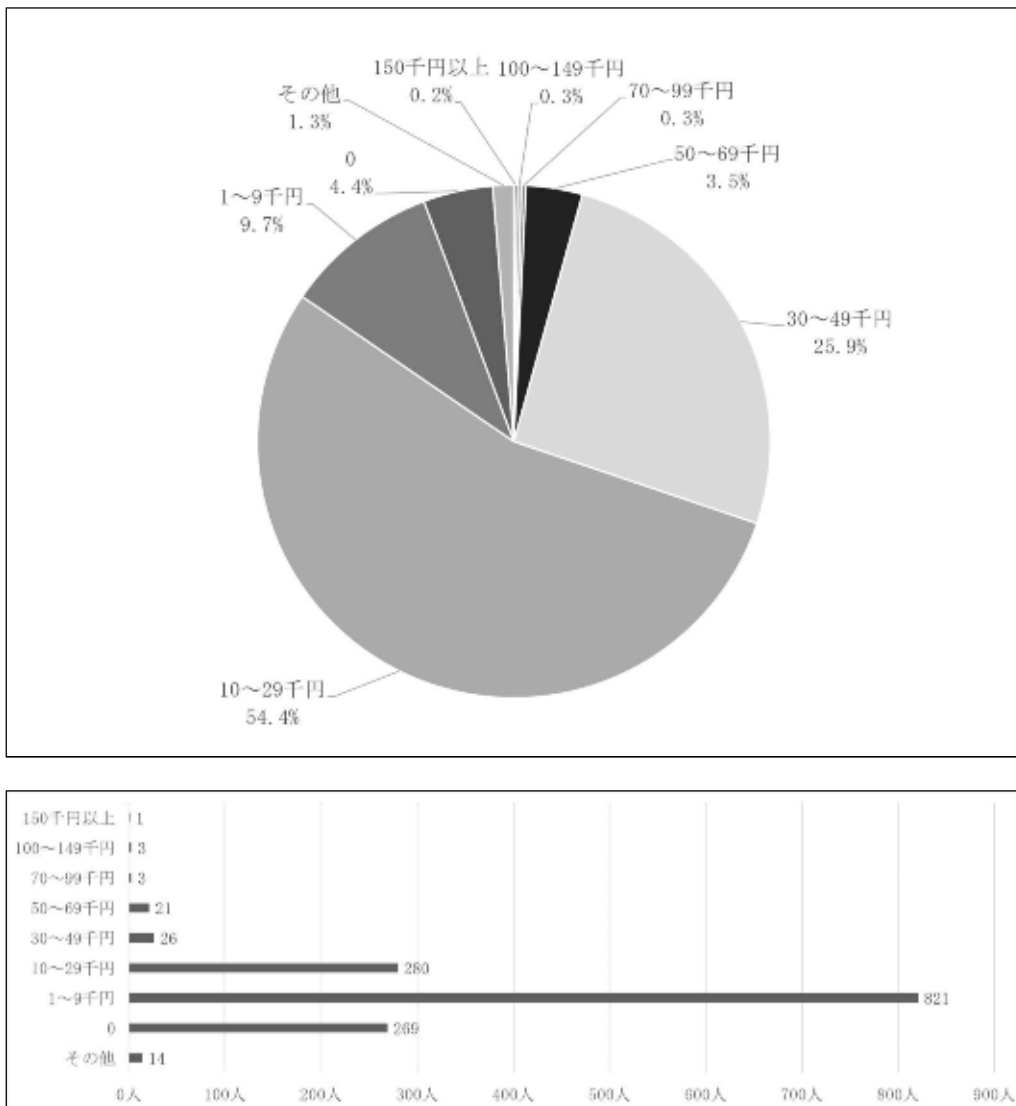


図3-8 勉学費

3-9 娯楽・被服費

娯楽・被服費の1か月の平均支出額についてのアンケート結果は以下の通りである。1万円～2.9万円と回答した者の数は、756人と最も多く、全体の52.6%を占めている。次いで、1千円～9千円が411人で、全体の28.6%となっている。娯楽・被服費の1か月の平均支出額を0円と回答した者の数は、51人であった。なお、1万円以上2万円以下と回答した者の数は482人であり、娯楽・被服費の1か月の平均支出額を1万円台あるいは1万円未満と回答した者の数は、893人となっている。1か月の娯楽・被服費の平均は、15,068円である（なお、娯楽・被服費を30万円とする記載があったが、単位を誤っている可能性があるものと思われるためデータから削除したうえで平均を算出した。）。

平成30年度の調査では、1か月の娯楽費の平均額は13.5千円、1か月の被服費の平均額は9.0千円で、合計すると22,5千円となる。娯楽・被服費の1か月の平均支出額は、平成30年度の調査に比べて、大幅に減っている。

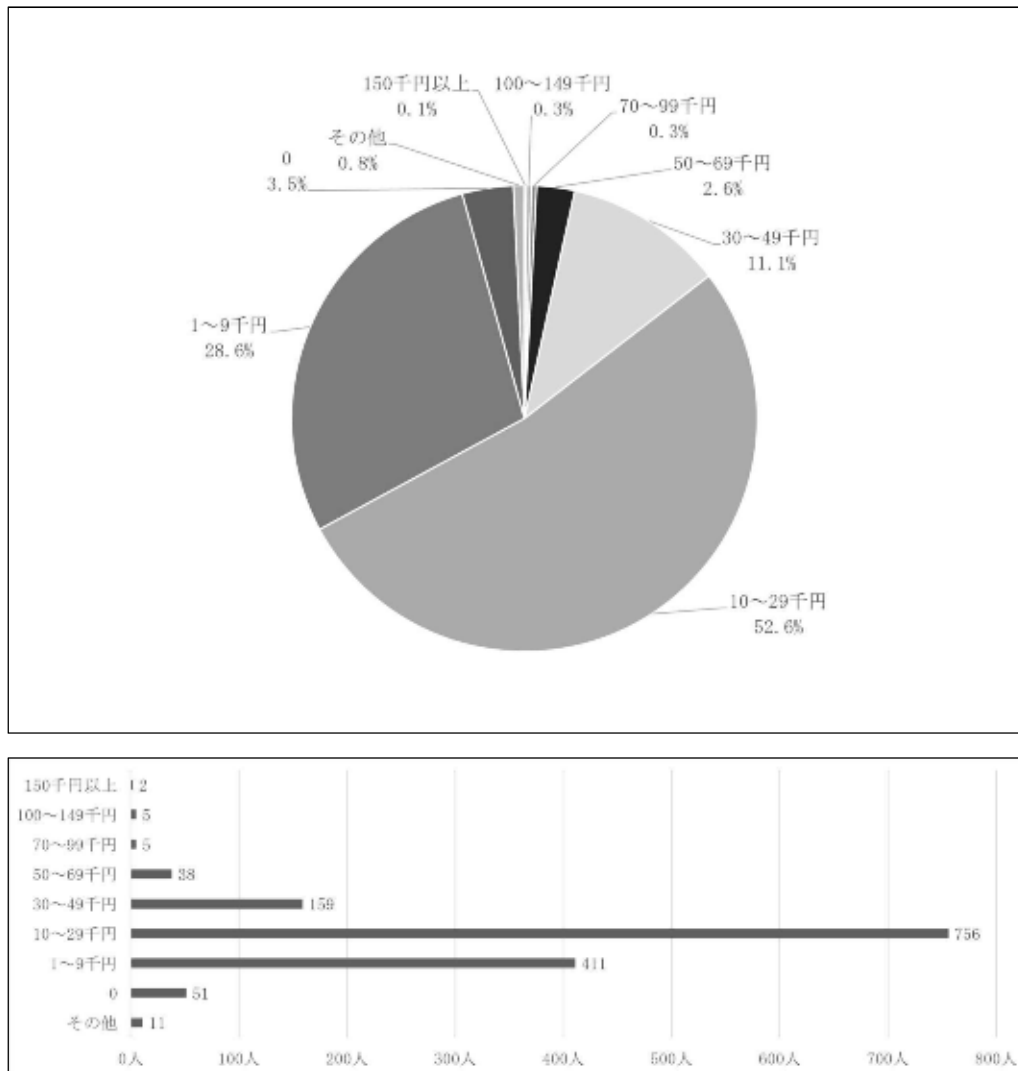


図3-9 娯楽・被服費

3-10 その他雑費

その他雑費の1か月の平均支出額についてのアンケート結果は以下の通りである。1千円から9千円と回答した者の数は594人、10千円から29千円が563人で、合わせると全体の80.5%を占めている。1か月のその他雑費の平均は、10,902円であった。

平成30年度の調査では、1か月のその他雑費の平均額は11.5千円であった。その他雑費の1か月の平均支出額は、平成30年度の調査に比べて、ほぼ横ばいである。

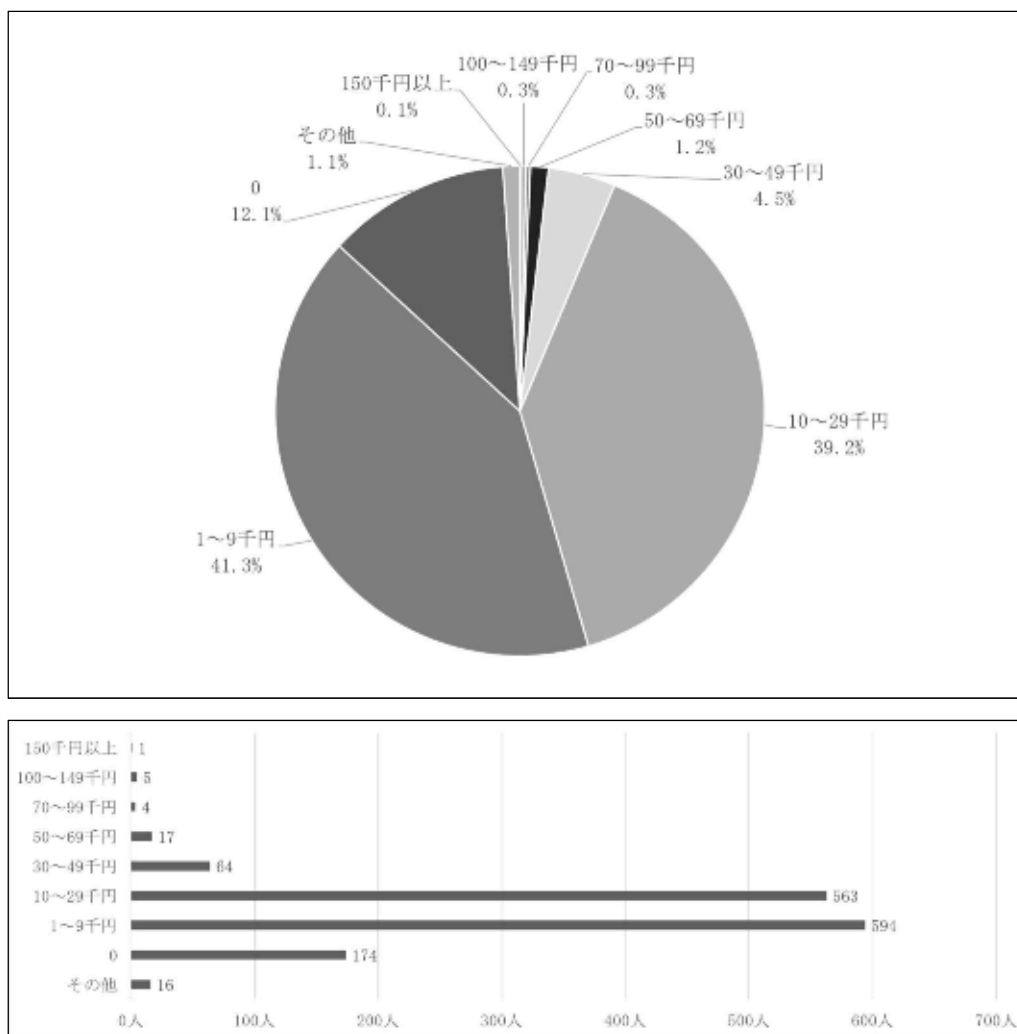


図3-10 その他雑費

3-11 預貯金

預貯金の1か月の平均支出額についてのアンケート結果は以下の通りである。0円と回答した者の数が最も多く、575人で、全体の40,0%を占めている。次いで、10千円から29千円と回答した者の数は430人となっている。そのうち、1万円と回答した者の数は236人であった。1か月の預貯金の平均は、17,979円である（なお、1か月の預貯金を30万円や25万円とする記載があった。他にも単位を誤っている可能性があると思われる記載が散見されるため、1か月の預貯金を10万円以上とする記載をデータから削除したうえで平均を算出した。）。

平成30年度の調査では、1か月の預貯金の平均額は18.5千円、1か月の預貯金として最も多くの学生が支出している額は10千円で169人、次いで20千円が114人、5千円が81人であった。預貯金その他雑費の1か月の平均支出額は、平成30年度の調査に比べて、ほぼ横ばいである。

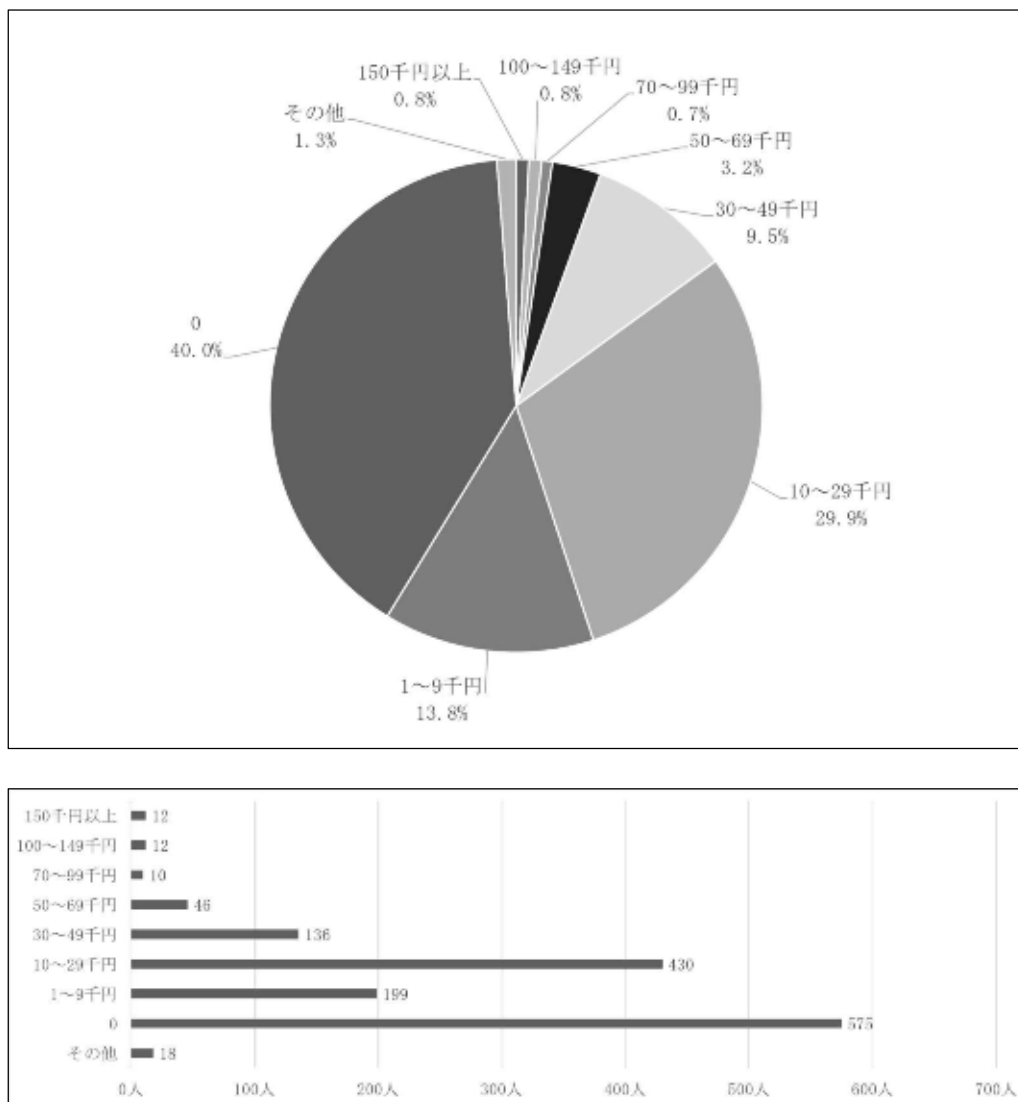


図3-11 預貯金

第4章 アルバイトについて

4-1 アルバイトの経験

アルバイト経験の有無について、全体で89.5%が経験したことがあると回答している。アルバイト経験者は平成30年度の83.0%から増加傾向にある。また、アルバイトをした学生のうち「長期」は58.1%、「短期」は26.3%であった。平成30年度ではそれぞれ55.4%、22.7%であった。9割弱の学生が何らかのかたちでアルバイトを行っており、そのうちのおよそ65%の学生が日常的、定期的（長期のアルバイトに該当）にアルバイトを行っていると考えられる。

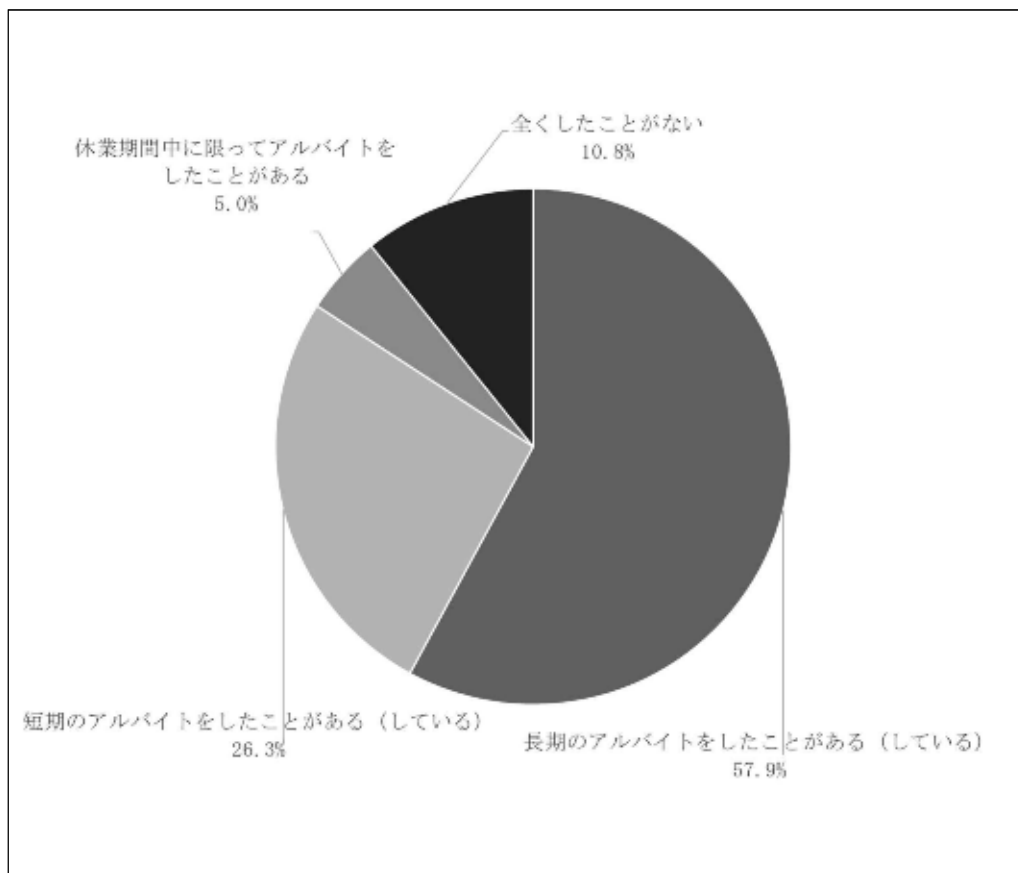


図4-1 アルバイトの経験の有無

4-2 アルバイトの時間

アルバイトの1週間の平均就労時間は、「5時間未満」19.4%、「5～9時間」29.1%、「10～19時間」37.6%であり、これらで86.1%を占めている。平成30年度はこれらで92.0%（それぞれ26.0%、43.7%、22.3%）であった。一方、週に40時間以上とかなり長時間のアルバイトを行っている学生が、今回は1.6%、平成30年度で0.8%であり増加傾向となった。ほぼ毎日、長時間のアルバイトを行い、学業への支障が強く懸念される学生の比率は増加傾向にあるといえる。

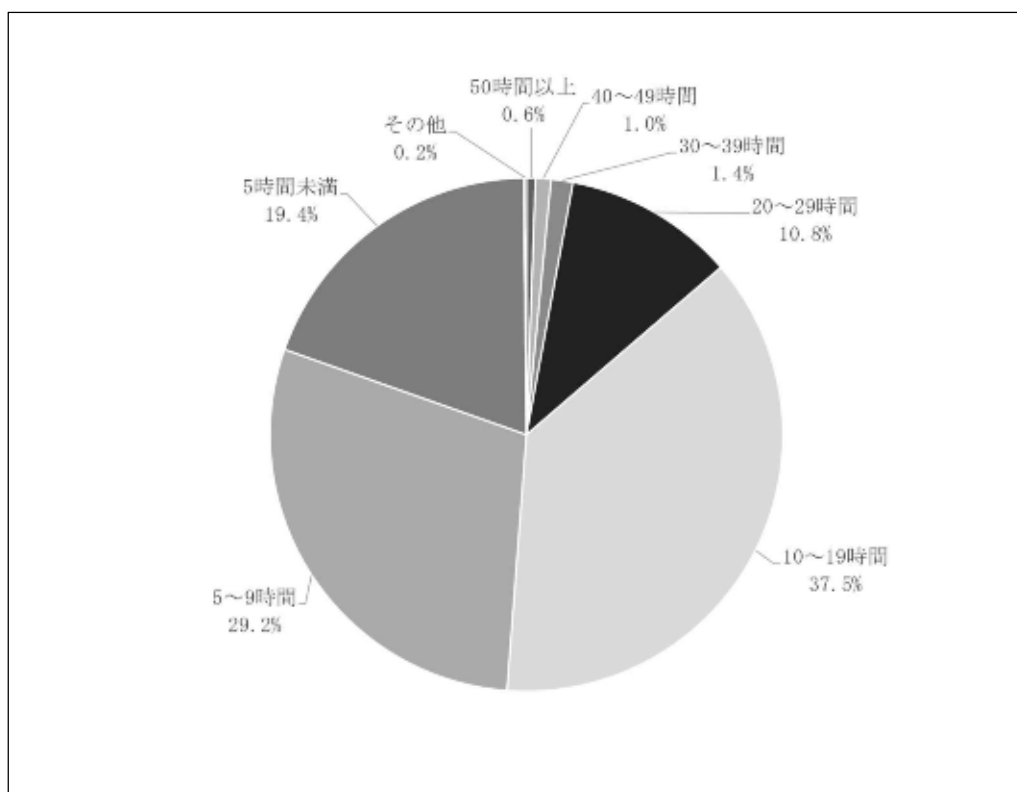


図4-2 アルバイトの1週間平均就労時間

4-3 ブラックバイトについて

令和4年度からの新規設問である。「アルバイトをしたことがある」と答えた学生に、該当する項目を全て選択してもらうという形式で回答してもらった。（新型コロナウイルスの影響ではないと考えられるもの。）多いものから「準備や片付けの時間の賃金が支払われなかった」、「一方的に急なシフト変更を命じられた」、「採用時に約束したシフト以上のシフトを入れられた」、「一方的にシフトを削られた」が挙げられ、それぞれ、123人、91人、83人、82人がこのような経験があると回答している。

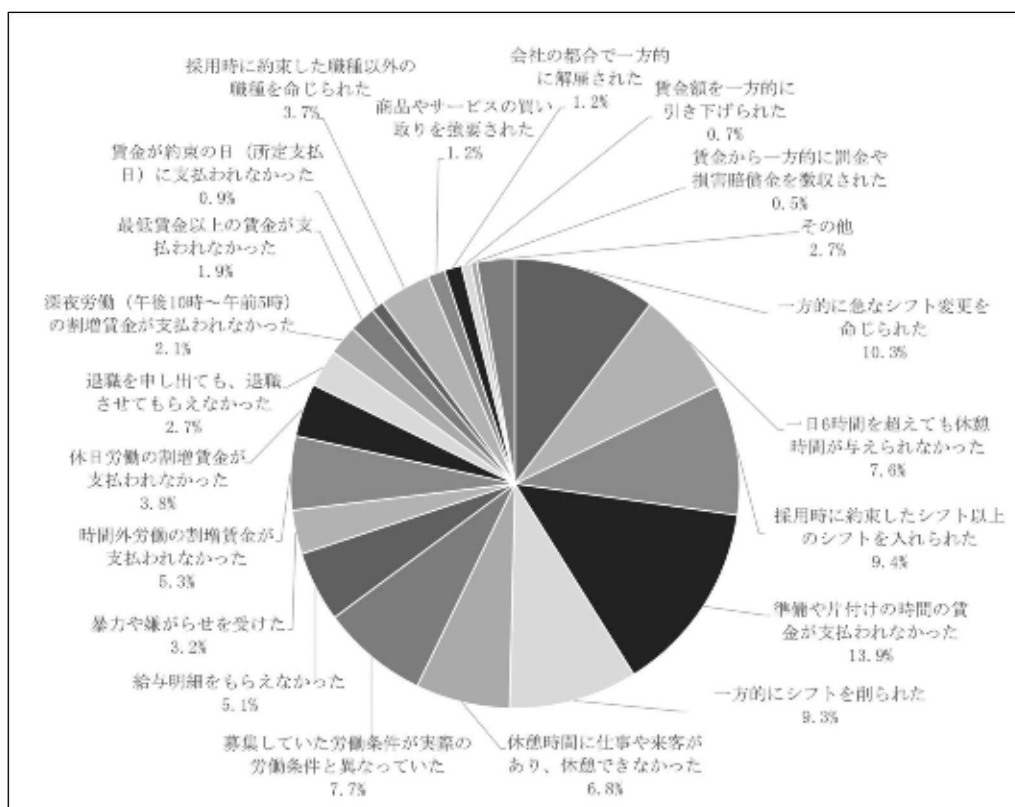


図4-3 ブラックバイトと感じたこと

第5章 課外活動について

5-1 サークルの加入状況

サークル（部）への加入の有無と加入サークルの種類（複数回答）では、何らかのサークルに加入している学生は62.3%であった。サークルに加入している学生は、平成30年度69.3%、平成26年度66.7%、平成22年度の64.2%、平成18年度の59.0%、平成14年度の56.7%と推移しており、長期的に見ると増加傾向にあるが、平成30年度からのある程度の減少はコロナ禍における学生生活の変化が影響しているものと思われる。加入しているサークルとして、「学友会所属の文化系」が20.5%（同27.4%、26.8%）、「学友会所属の体育系」が22.7%（平成30年度28.5%、平成26年度23.1%）と多かった。「学友会以外の学内文化系」は8.5%（同10.0%、11.6%）、「学友会以外の学内体育系」は6.2%（同9.4%、12.3%）であった。体育系と文化系に大きく2分類した場合、体育系が31.0%、文科系が31.2%とほぼ拮抗している状況にある。学外のサークル活動への参加は、体育系と文化系を合わせて4.3%であり、平成30年度（3.9%）と同様に少数であった。さらに、「学内外のサークルに加入していない」は37.7%であり、平成30年度の30.7%から増加傾向にあり、上記と同様に、コロナウイルスによる社会活動の制限による学生生活への景況が少なくないものと考えられる。

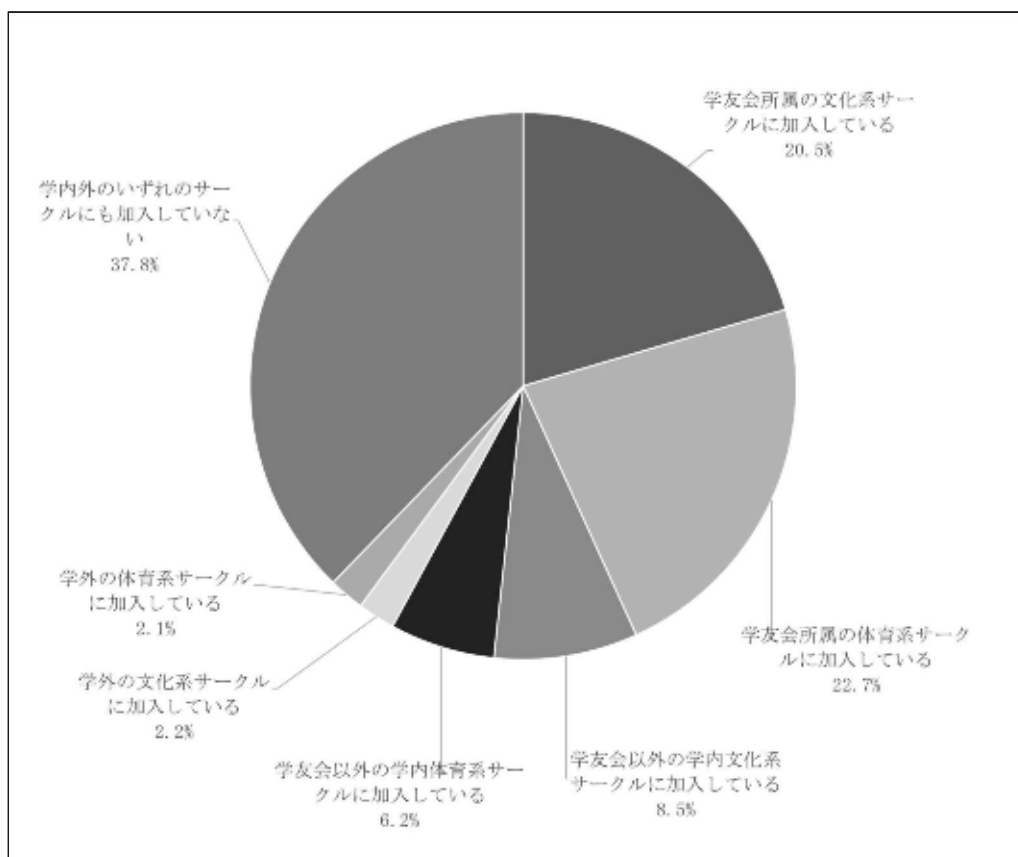


図5-1 サークルの加入状況

5-2 サークルに加入した理由

サークルに加入した理由（複数回答）では、「活動内容が好きだから（または興味があるから）」が30.7%と最も多く、次いで「友人を得るため」が23.5%と多かった。この2者の順位は、平成30年度とほぼ同様だったが、選択の比率では「活動内容が好きだから」においてかなりの減少傾向がみられた。（平成30年度は66.9%であった。）「団体活動に興味がある」は11.1%であり、平成30年度の16.1%からやや減少している。このほかには、「特技向上のため」、「健康増進のため」、「知識・教養を得るため」、「レクリエーションとして」、「健康増進のため」がそれぞれ6～7%台であった。

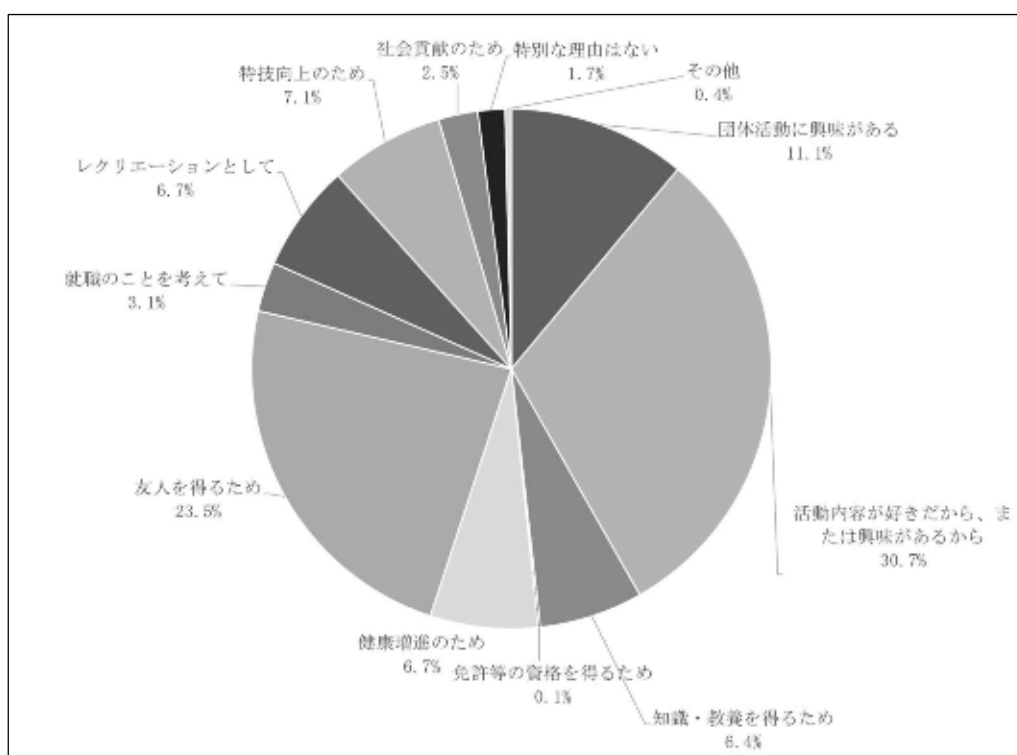


図5-2 サークルの加入理由

5-3 サークル活動の時間

学生がサークル活動している1週間当たりの平均時間は4.7時間であった。平成30年度5.2時間、平成26年度5.5時間、平成22年度には5.7時間、平成18年度には6.2時間、平成14年度には6.7時間であったことから、サークル活動の時間は減少する傾向にあった。1週間当たりの平均時間は、「1～2時間」が28.5%と最も多く、次いで「3～4時間」が21.8%、「5～7時間」が14.1%であった。平成30年度は、「1～2時間」が30.3%、「3～4時間」が32.5%、「5～7時間」が16.3%であった。1週間に10時間以内のサークル活動が91.5%であり、平成30年度（91.6%）とほぼ同様であった。約2%の学生は週に20時間以上のサークル活動をしているが（平成30年度は約3%）、これらの学生におけるサークル活動と学業との関係は明らかではない。また、サークルに加入しながらほとんど活動していない学生が約13%みられ、平成30年度の約2%という値と比較して大幅に増加している。

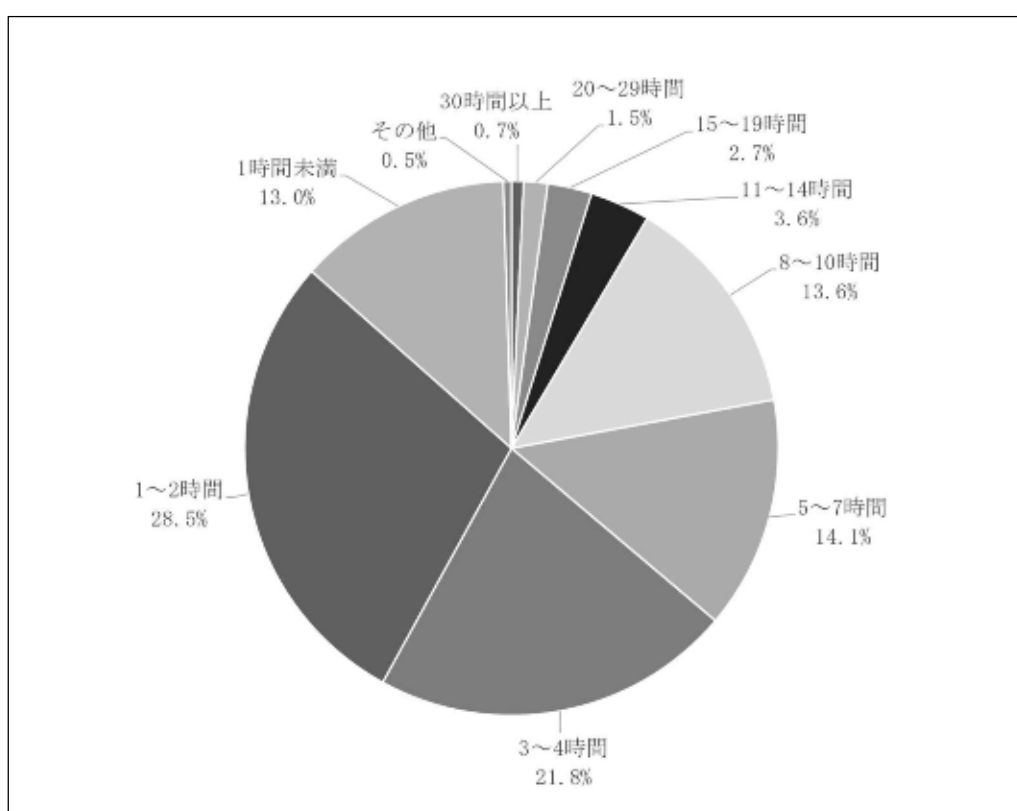


図5-3 サークルの1週間あたりの平均時間

5-4 課外活動施設の満足度

課外活動を行う施設の満足度では、「満足している」が39.0%、「どちらかといえば満足している」が31.8%であり、この両者を合計すると70.8%と7割を超えていた。平成30年度には、「満足している」が46.2%、「どちらかといえば満足している」が29.1%であり、合計が75.3%であった。（平成26年度以前は尺度が異なっている。）また、今回の「どちらかという満足していない」は7.9%、「満足していない」は4.2%、合計は12.1%であった。平成30年度には、「どちらかという満足していない」は5.4%、「満足していない」は3.5%、合計は8.9%であった。このことから、課外活動を行う施設への満足度は、前回の平成30年度調査と同様の水準にあるといえる。

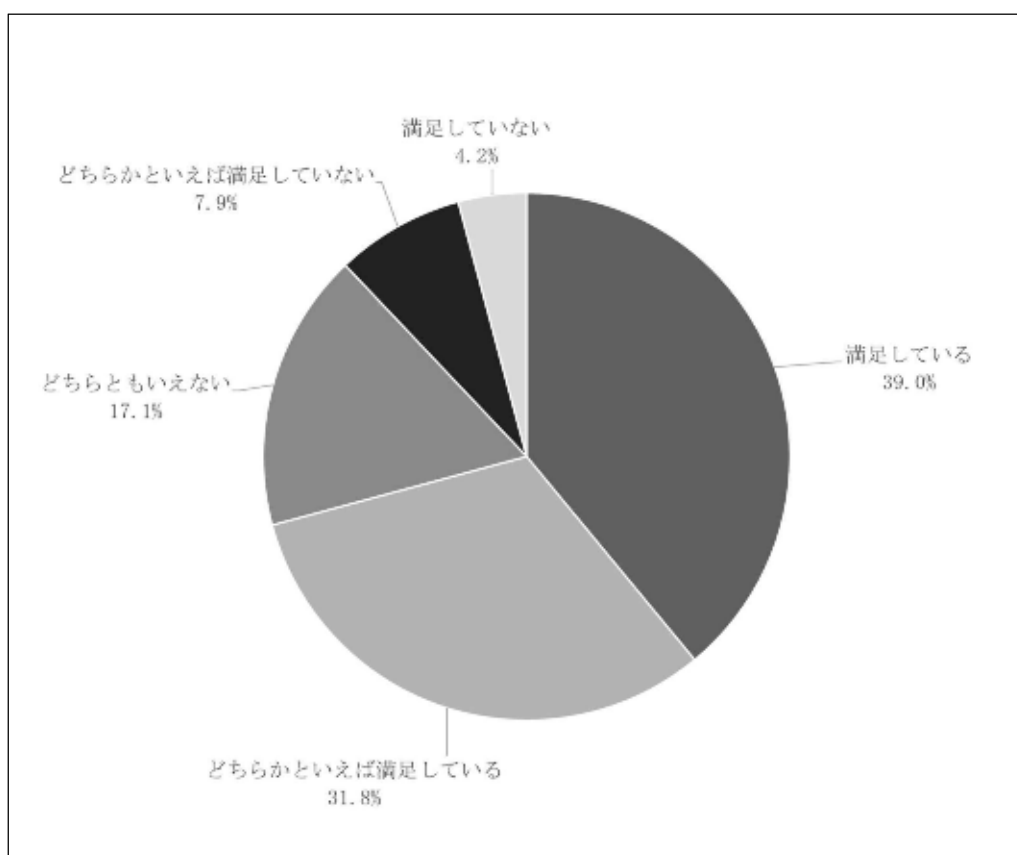


図5-4 課外活動施設の満足度

第6章 健康・悩み事について

6-1 喫煙と使用しているタバコの種類

図6-1に示すように、「紙タバコや加熱式タバコ・電子タバコを喫煙していますか？」との設問に対して、「喫煙していない」が95.2%を占め、喫煙率4.8%と低かった。喫煙者では、使用しているタバコの種類について「紙タバコのみ」は3.3%で、「加熱式タバコ・電子タバコのみ」は1.0%、両者の併用は0.5%であり、近年販売が開始された加熱式タバコ・電子タバコは使用されているものの、3年前の調査からは使用率に大きく変化はなかった。

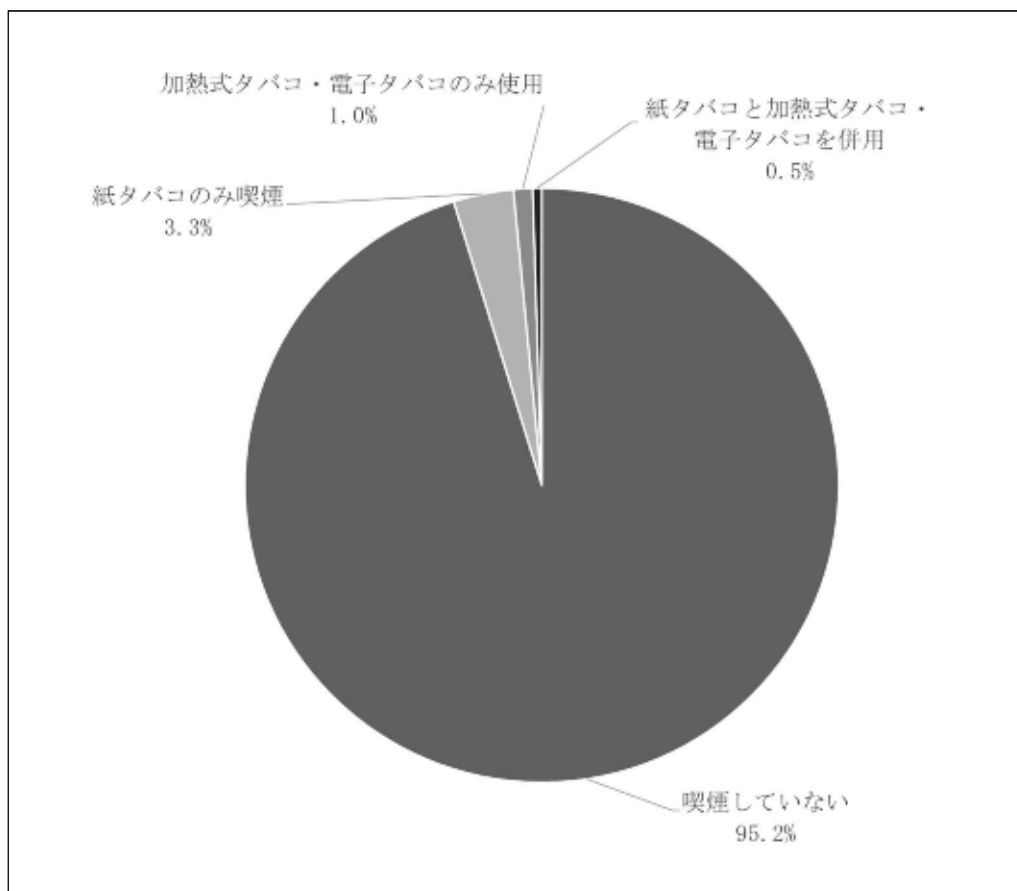


図6-1 喫煙と使用しているタバコの種類

6-2 大学の敷地内での受動喫煙

図6-2に示すように、「1年以内に大学の敷地内で受動喫煙を受けたことがありますか？」の問いに対し、「ない」と答えたのは69.5%で、受動喫煙を受けたことがあるのは30.5%であった。3年前の調査の際の「受動喫煙を受けたことがある」と回答した38%よりは改善していた。受動喫煙を受けた場所についても、建物外25.7%、建物内4.8%であり、建物外のみならず、建物内での喫煙による学生の受動喫煙の実態が明らかになった。

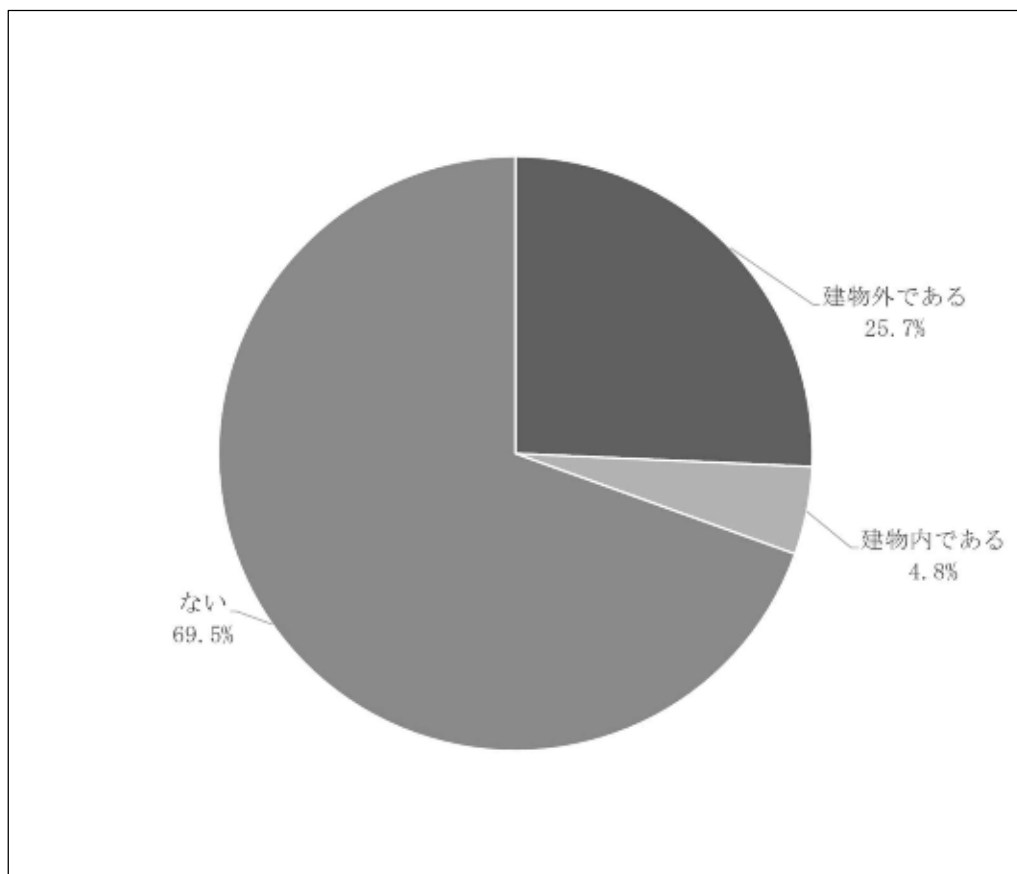


図6-2 大学の敷地内での受動喫煙

6-3 飲酒頻度

図6-3に示すように、「どのくらいの頻度でお酒を飲みますか？」との設問に対して、「ほぼ毎日」と答えたのは1.5%であった。「週に3～5日」も4.0%で、残りの94.5%は週に2日以下の飲酒頻度であった。飲酒量については調査していないが、頻度だけでみると学生の飲酒は多くないと考えられた。

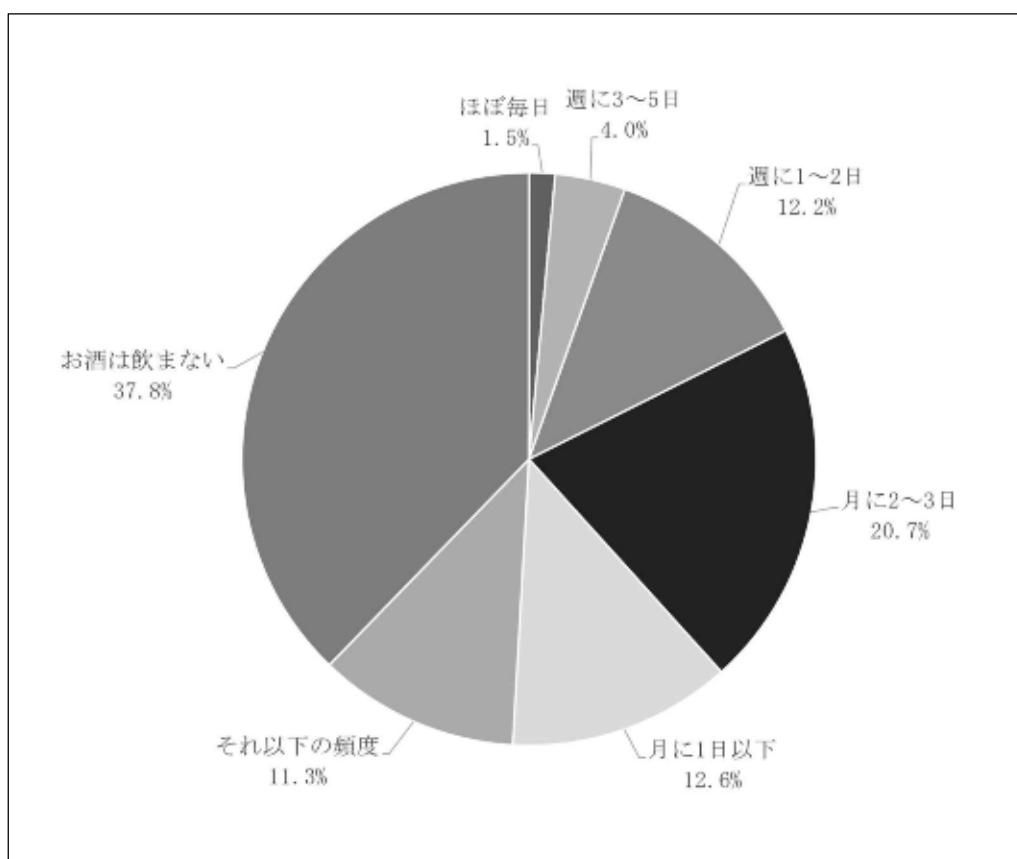


図6-3 飲酒頻度

6-4 現在、悩んでいること

約76%の学生が現在悩みを持っていた。悩みとしては、将来の進路のこと443人（30.8%）が最も多く、次いで勉学上のこと263人（18.3%）、経済的なこと121人（8.4%）と続いていた。

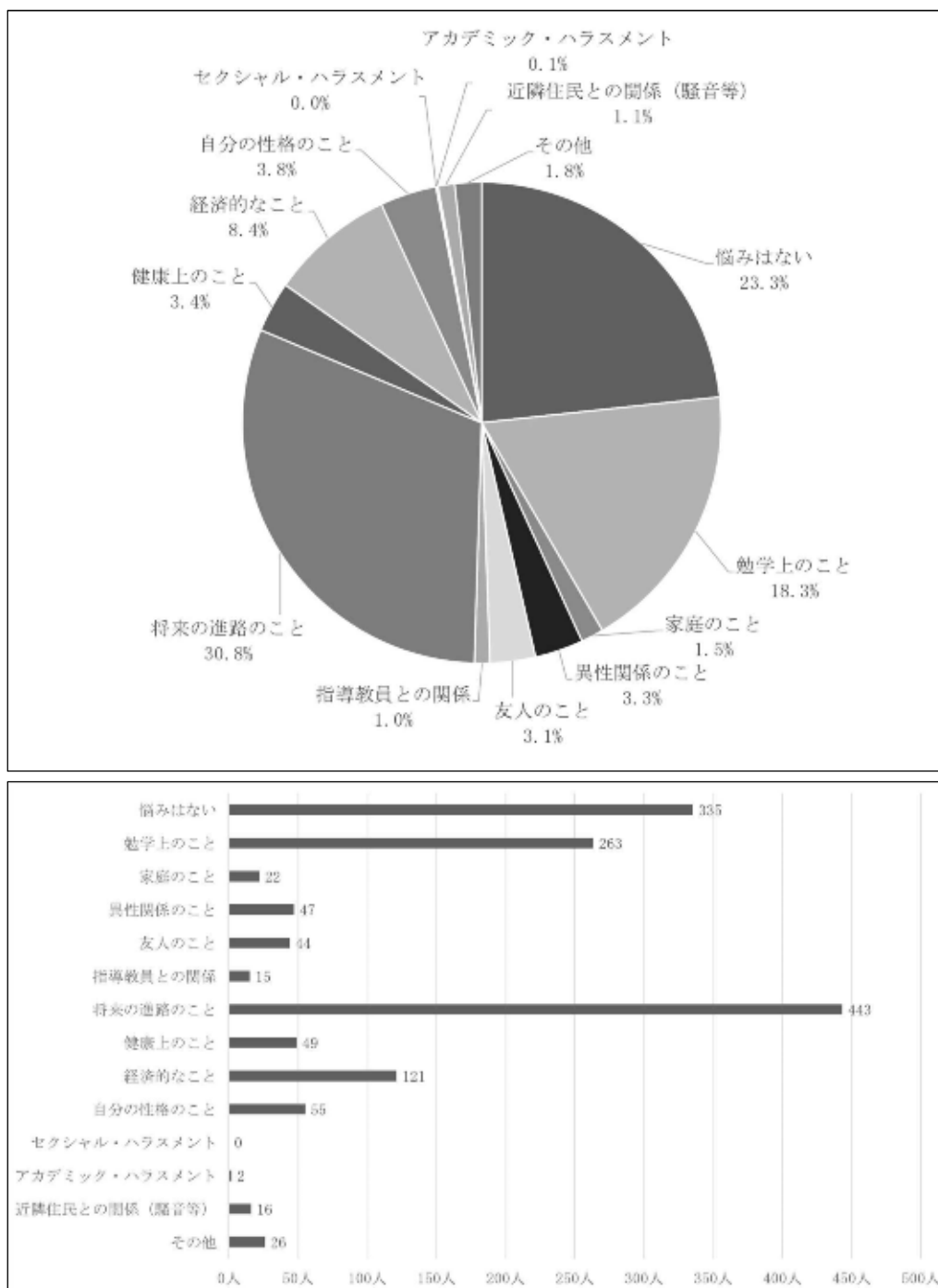


図6-4 現在、悩んでいること

6-5 二番目に悩んでいること

約68%の学生に二番目に悩んでいることがあった。悩んでいることの内容としては、将来の進路のこと250人（17.4%）、勉学上のこと229人（15.9%）、経済的なこと98人（10.3%）と「18-1の現在の悩みごと」と上位3つの悩みには変化がなかったが、対人関係や自分の性格のことなどに関するの悩みが増えていた。

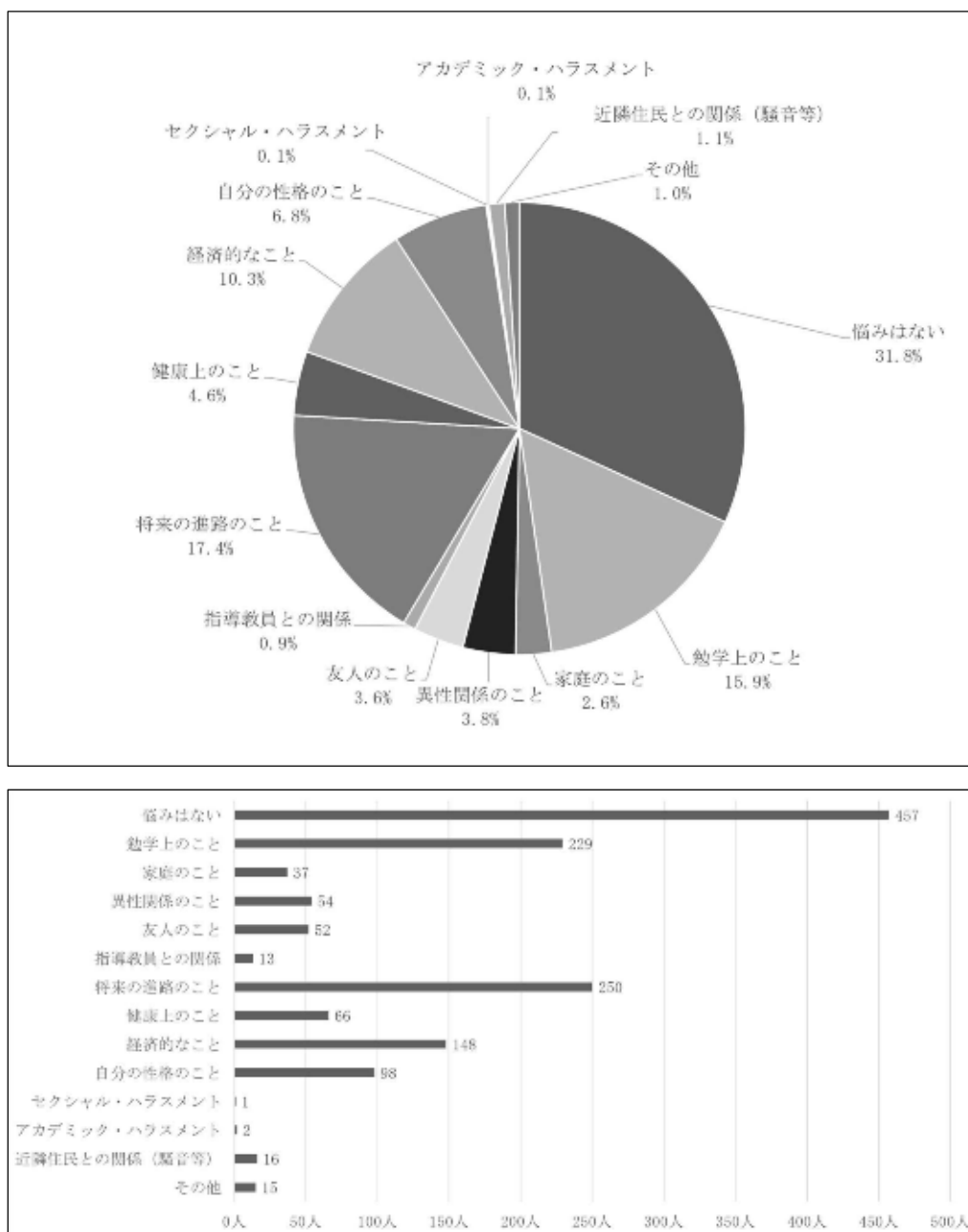


図6-5 二番目に悩んでいること

6-6 三番目に悩んでいること

約55%の学生に3つ目の悩みがあった。悩んでいることと内容としては、勉学上のこと141人(9.8%)が最も多くなっており、次いで将来の進路のこと129人(9.0%)、経済的なこと109人(7.8%)となっていた。

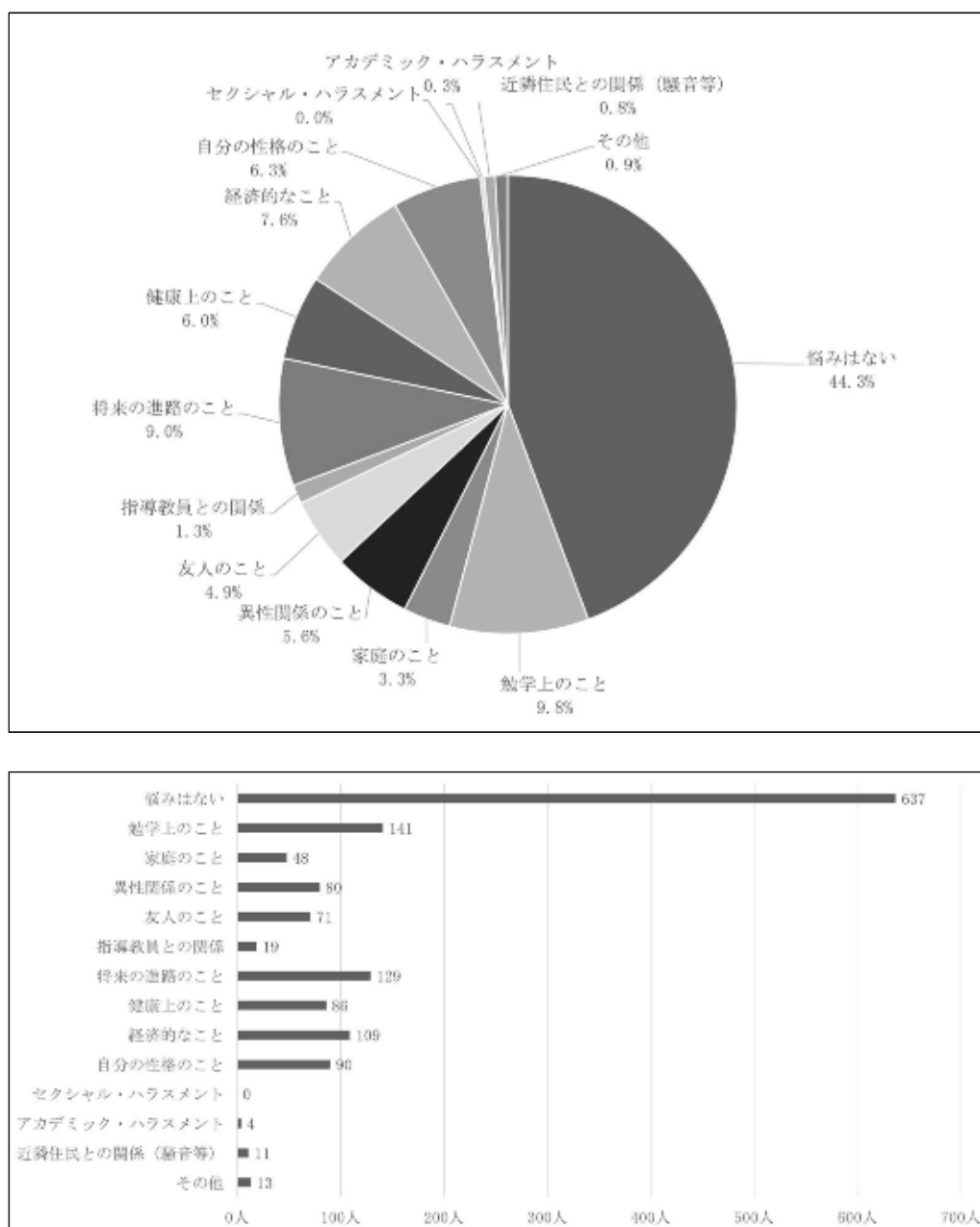


図6-6 三番目に悩んでいること

6-7 ハラスメントについて

図6-7に示すようにハラスメントと感じるようなことを受けた学生は177人であり、12.3%の学生がハラスメントを受けたと感じていた。前回調査ではセクシャル・ハラスメント及びアカデミック・ハラスメントの経験者は4.1%であったことから、ハラスメントを受けたと感じている学生が大幅に増加していることがわかった。

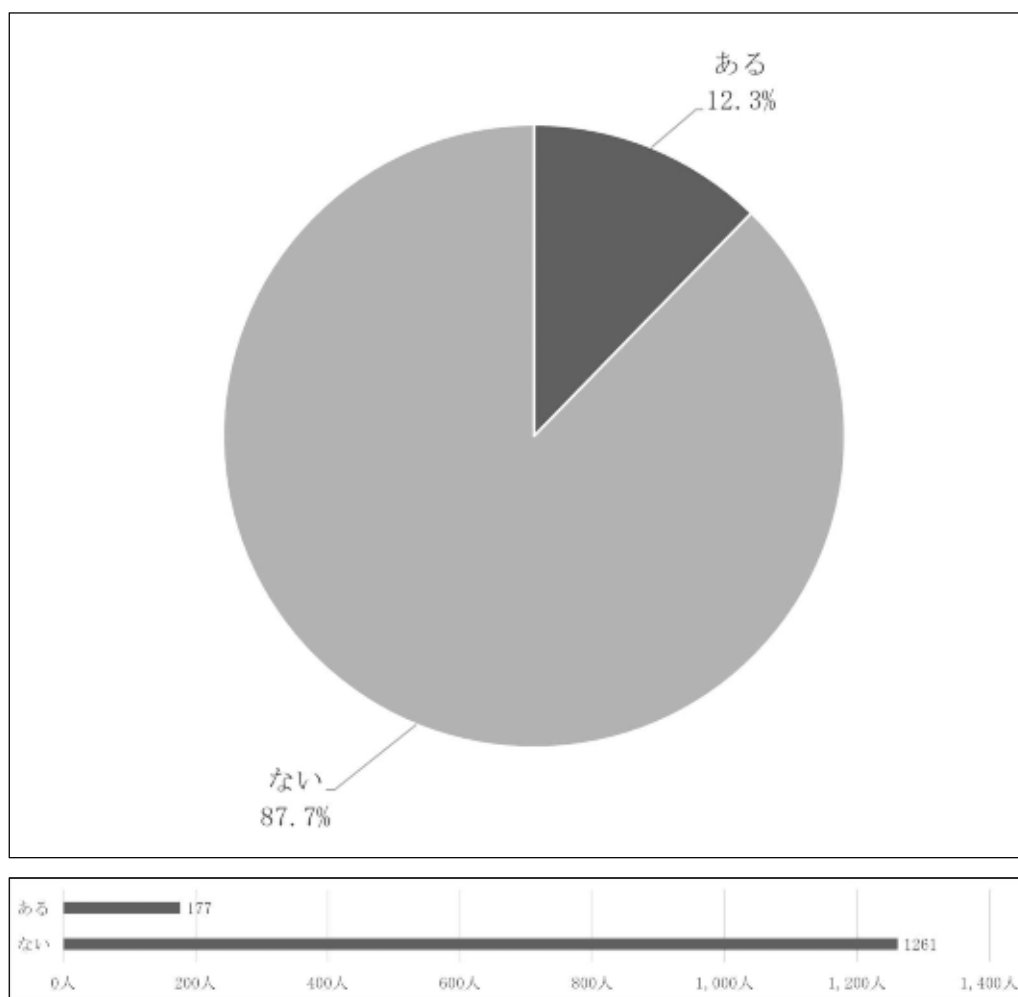


図6-7 ハラスメントについて

6-8 ハラスメントの種類について

ハラスメントを受けたと感じた学生のハラスメントの種類としては、パワー・ハラスメントが最も多く70人（32.6%）、セクシャル・ハラスメント61人（28.4%）、アカデミック・ハラスメント52人（24.2%）、アルコール・ハラスメント24人（11.2%）と続いていた。

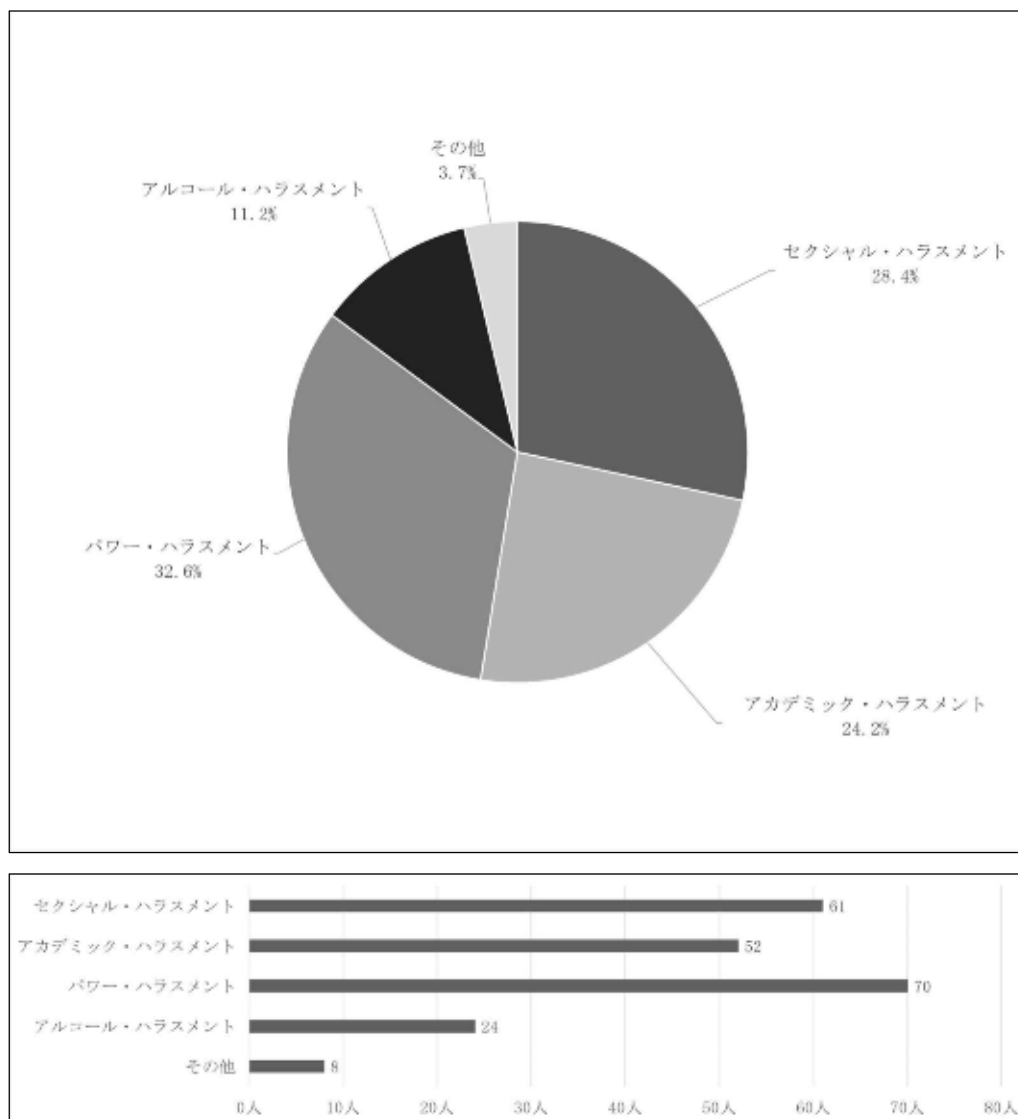


図6-8 ハラスメントの種類について

6-9 学生なんでも相談窓口について

学生なんでも相談窓口でハラスメントの相談ができることを知っている学生は833人(57.9%)であった。約4割の学生はハラスメントの相談が出来ることを知らなかったことから、相談窓口の周知を行う必要があるであろう。

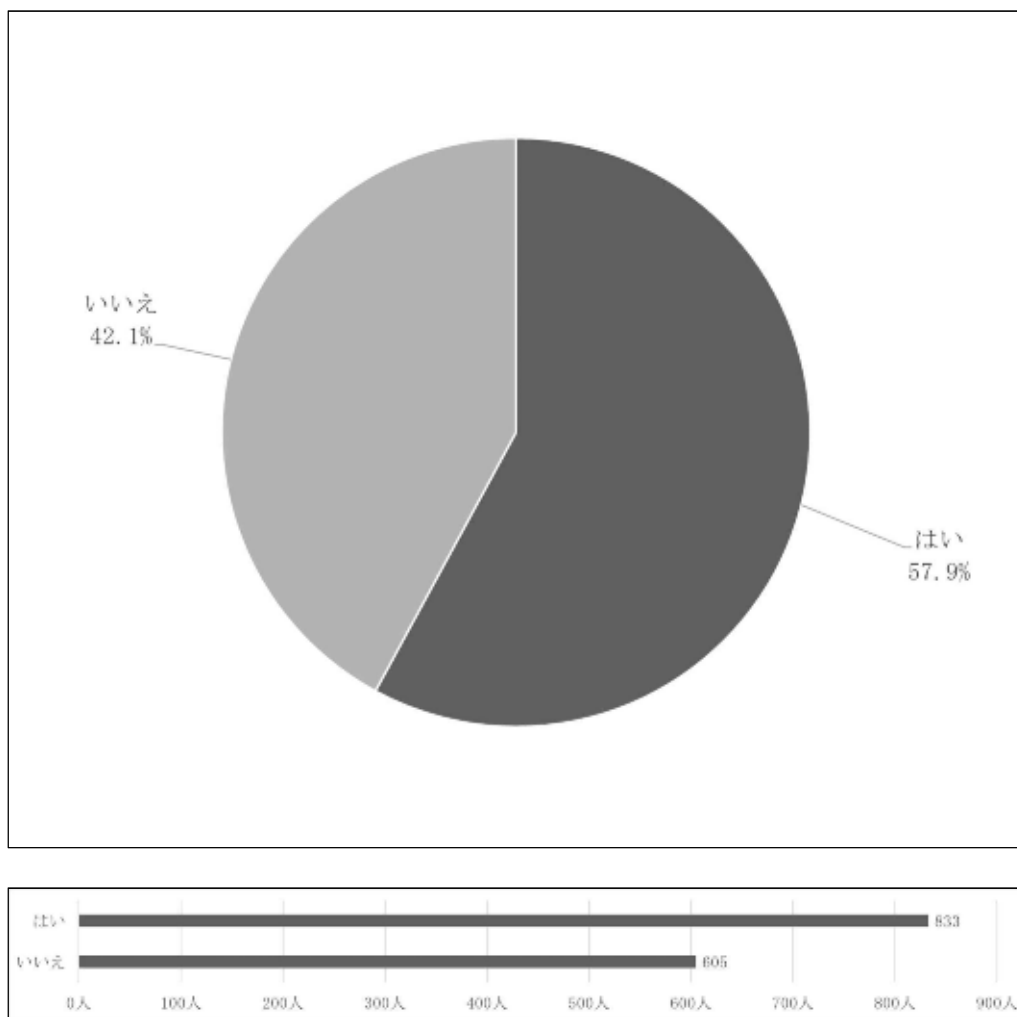


図6-9 学生なんでも相談窓口について

6-10 相談窓口について

相談窓口について、学生相談ルームを知っている学生は894人（62.2%）、特別就学サポートルームを知っている学生は549人（38.2%）であった。両方とも知らない学生は527人（36.6%）いることから、相談窓口の周知を行う必要があるであろう。

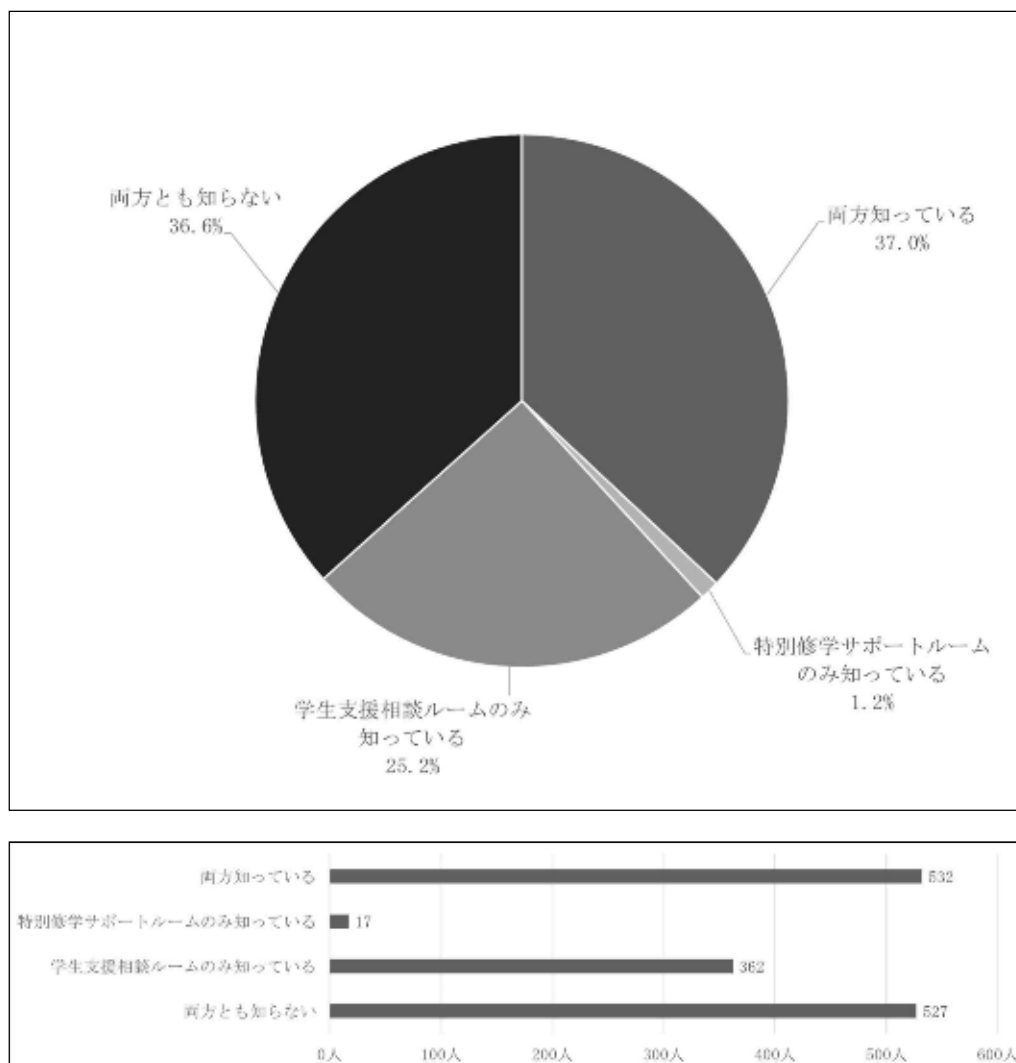


図6-10 相談窓口について

6-11 悪徳商法、詐欺などの被害について

悪徳商法や詐欺被害に遭っている学生が116人（7.8%）いることがわかった。前回の調査では3%であったことから、大幅に増加していることがわかった。その後の相談相手としては、家族が最も多く53人（3.6%）、次いで、20人（1.4%）が友人や先輩に相談していた。誰にも相談しなかったり解消方法がわからない学生も認められることから、悪徳商法や詐欺被害について相談窓口も含めて周知していく必要があるであろう。

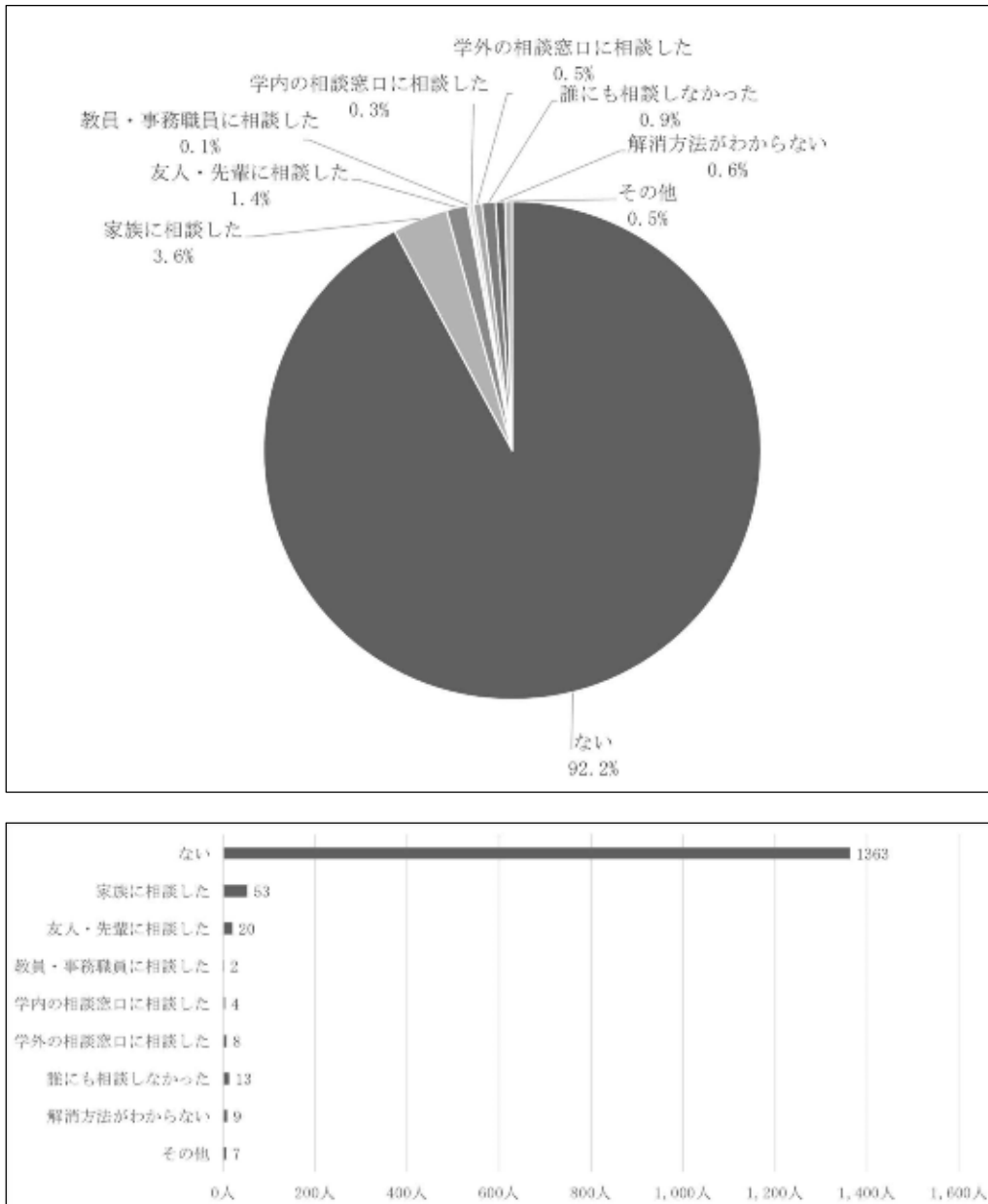


図6-11 悪徳商法、詐欺などの被害について

第7章 大学生活について

7-1 学業以外（サークル活動、アルバイトを除く）の過ごし方（複数回答、3つ以内）

図7-1は、回答が多い順に示したものである。この図に示すように、学業以外（サークル活動、アルバイトを除く）の過ごし方は、「YouTubeを見る」が64.2%と最も多かった。これは「テレビ・ビデオ」22.0%の約3倍であり、現在の学生はテレビよりインターネット配信動画の方を好んで視聴していることが示されていた。「音楽を聴く」34.5%、「ゲームをする」29.0%、「SNSを見る」28.5%が、それに続いた。新型コロナウイルス感染症による行動制限の影響も加わり、学業以外の生活では、インターネットを使用して一人で余暇を楽しむ過ごし方をしていると推察された。

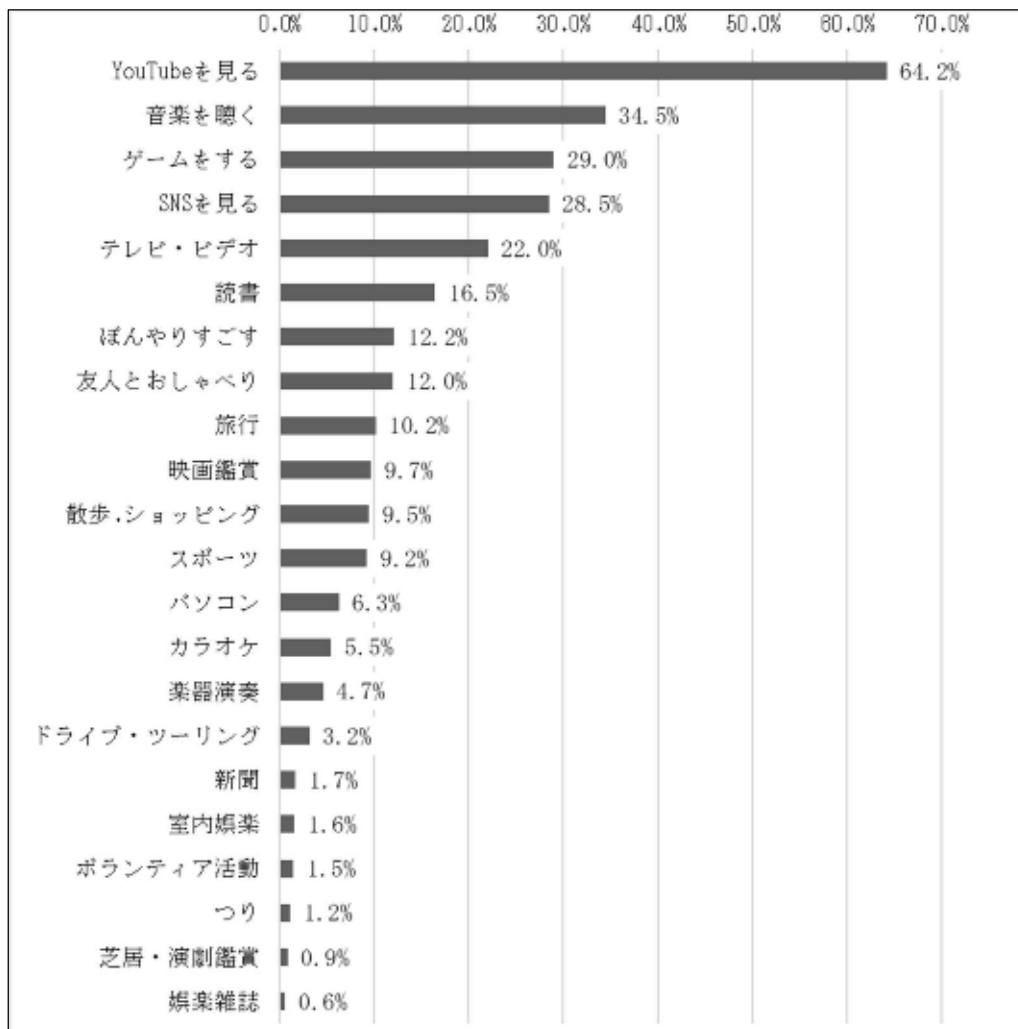


図7-1 学業以外（サークル活動、アルバイトを除く）の過ごし方

7-2 外国旅行

「外国旅行をしてみたいですか」の問いには、図7-2にあるように、「はい」が78.5%「いいえ」が21.5%であった。

調査時期は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が若干緩和された時期だった影響もあり、制限されていた外国旅行への希望が高まっていたと推察された。

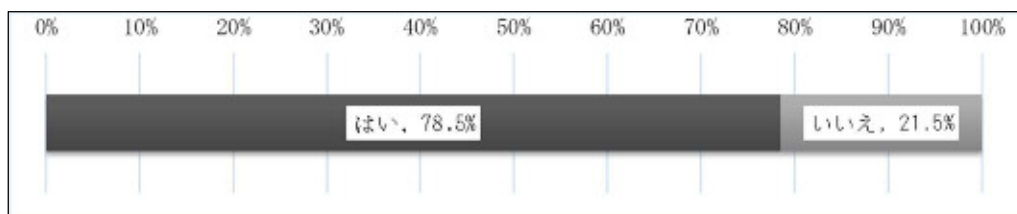


図7-2 外国旅行をしてみたいか

7-3 読書（漫画、雑誌を除く）の1か月の本の購入金額

「読書（漫画、雑誌を除く。）について、1か月の本の購入金額はどのくらいですか。」の問いには図7-3にあるように、最も多かったのが「0円」49.6%であり、次に多かったのは「2000円未満」24.1%、「2000円から4000円未満」14.7%、「4000円から6000円未満」6.5%であった。

約半数は、読書のための本は購入していなかった。

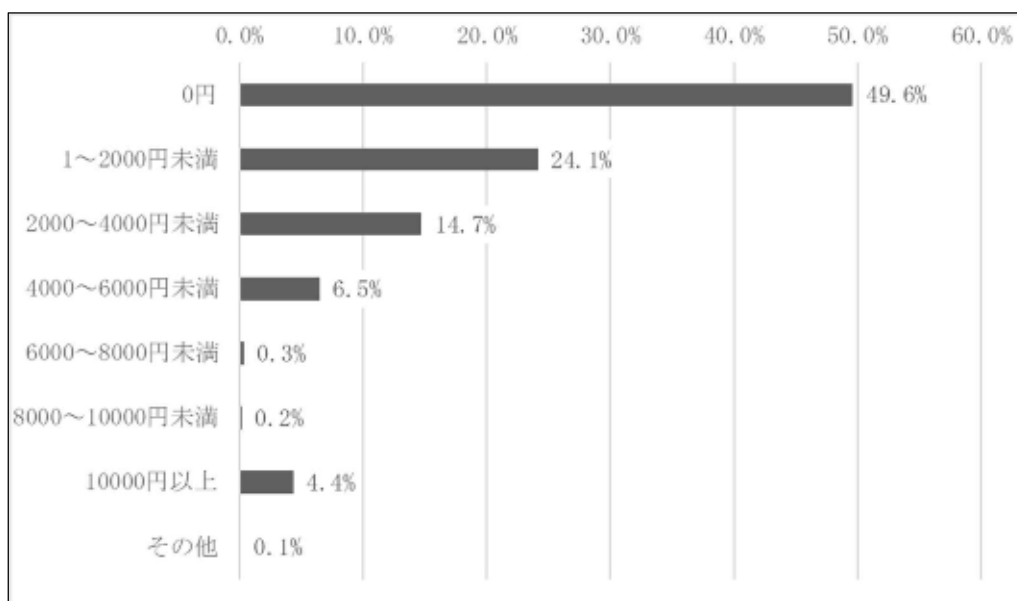


図7-3 1か月の本の購入金額

7-4 大学生活に満足しているか

「全体として新潟大学での大学生活に満足していますか。」の問いには「満足」25.9%、「どちらかといえば満足」49.9%であり、両者合わせて75.8%と半数以上が満足をしている結果となった。

なお、「どちらかといえば不満足」5.3%、「不満足」2.6%であり、合わせて7.9%の回答者は不満足であることが示されていた。

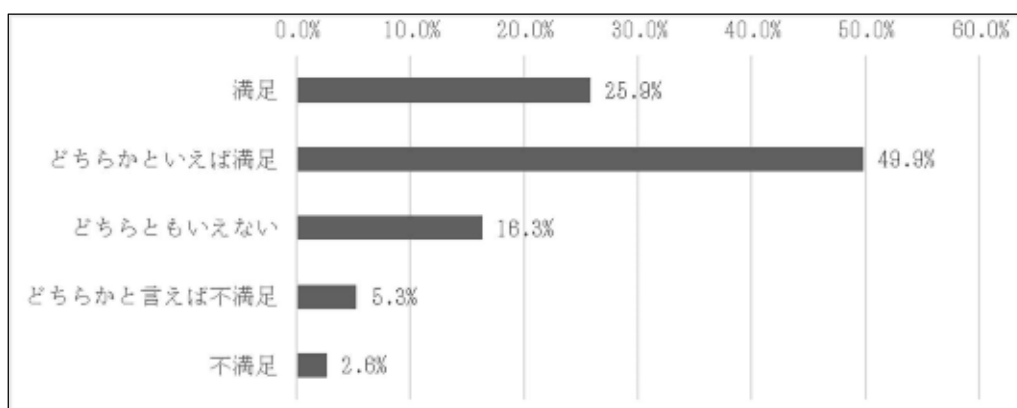


図7-4 大学生活に満足しているか

7-5 新潟大学の魅力(複数回答、2つ以内)

「新潟大学のどんなところに魅力を感じますか。(2つ以内)」の問いには、「大学の特色・学風」が33.9%と最も多く、「キャンパスに緑が多い」27.5%、「キャンパスが広い」25.0%と続いた。

大学としての魅力については、新潟大学の学風についてを「大学の特色・学風」、「大学の風土」とすると約5割が感じており、大学の設備や環境を示す設問が「キャンパスに緑が多い」・「広い」、「充実した設備」とすると約7割が、大学としての魅力を環境や設備に感じていると推測された。

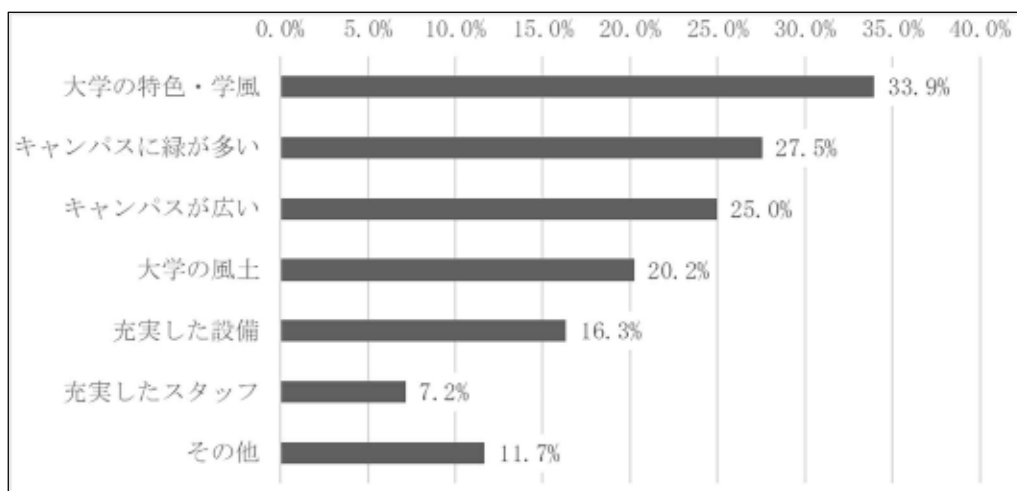


図7-5 新潟大学のどこに魅力を感じるか

第8章 大学の施設・設備

8-1 施設の広さや機能（質）の満足度

所属する学部・研究科の教育・研究施設（研究室、実験室、講義室）の広さや機能（質）の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると68.3%（前回60.1%）で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は11.0%（前回17.7%）であった（図8-1-1）。前回調査時と比較して満足度が向上しており、設備改修が一定の効果をもたらしたと考えられる。一方で自由記述での具体的な不満点として、学生の居住スペース（学生同士の交流、食事、自習など）が不足しているとの声が一定数あげられた。

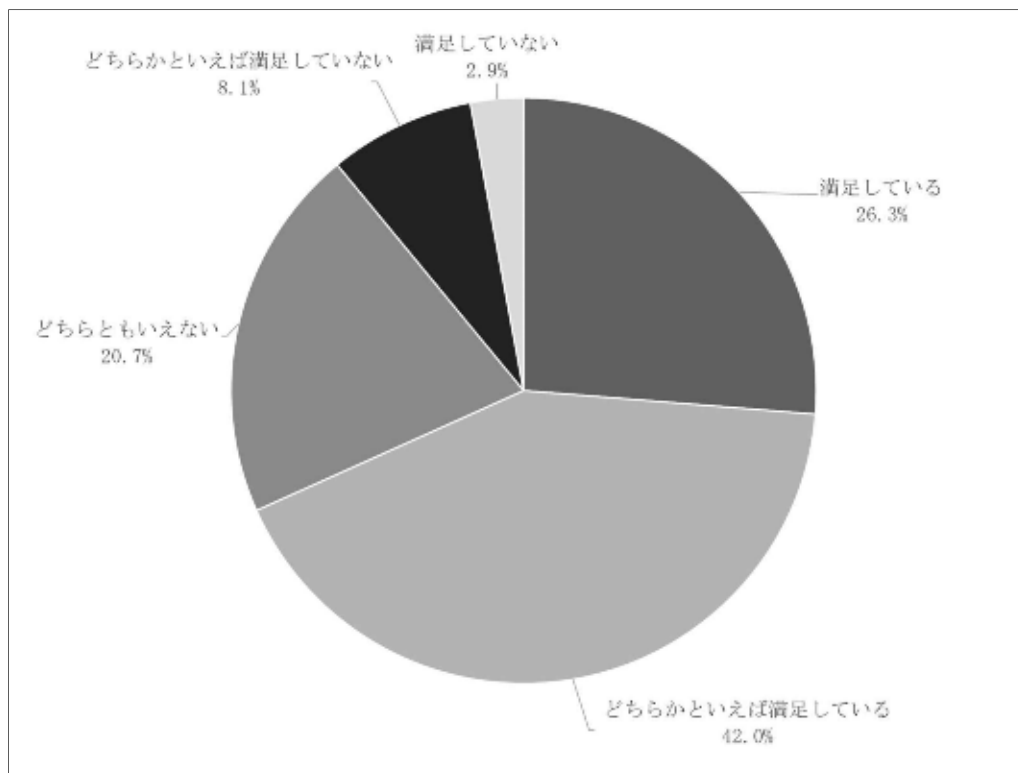


図 8-1-1 教育・研究施設の満足度

福利厚生・共通施設（食堂、体育施設等）の広さや機能（質）の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が62.2%（前回64.6%）で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は13.2%（前回11.1%）であった（図8-1-2）。前回調査時より満足度がやや低下した結果となったが、自由記述での具体的な不満点としてコロナ禍に伴う食堂の営業時間短縮に対する不満が多数寄せられたことを鑑みると、実質的には前回と大きな変化はないと考えられた。

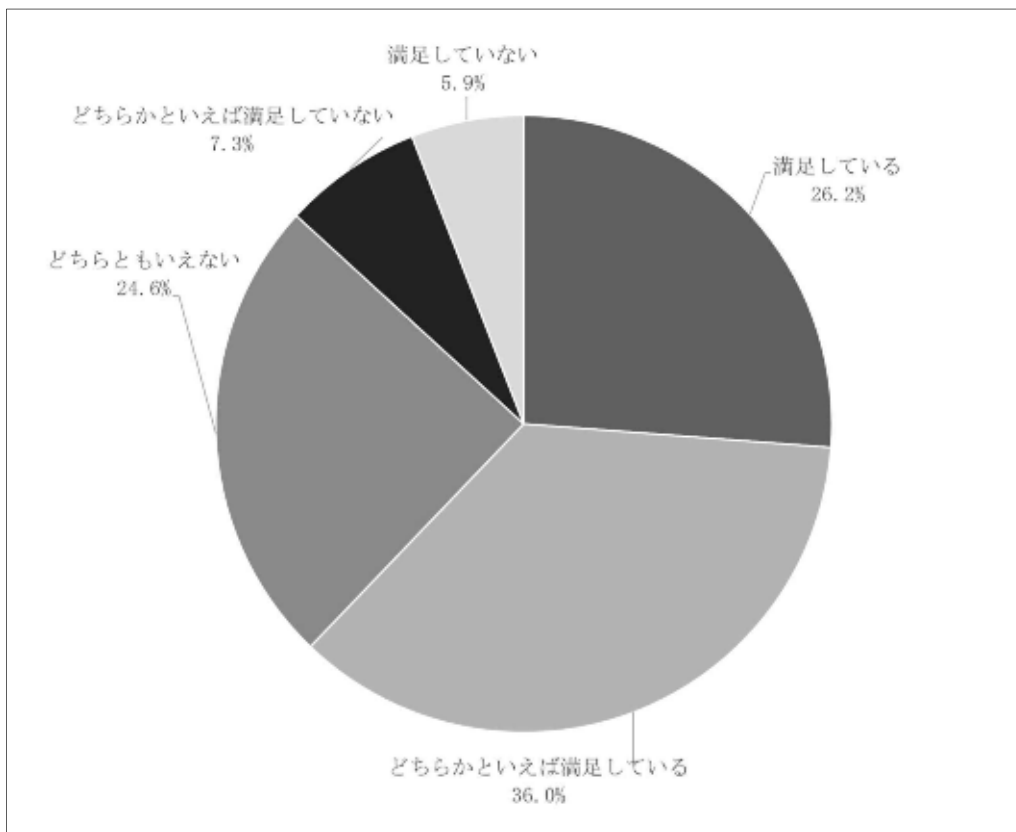


図 8-1-2 福利厚生・共通施設の満足度

屋外環境施設（駐輪場、広場）の広さや機能（質）の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が66.1%（前回59.3%）で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は8.3%（前回7.1%）であった。（図8-1-3）。前回調査時より満足度がやや向上したという結果となったが、自由記述で街灯が増えたことを評価する声が一定数あったことを反映しているのかもしれない。一方で依然夜間や冬期の夕方に街灯が不足している場所があるとの意見もあった。また、駐輪場のスペースの不足（特に旭町地区）と屋根がないことによる雨天時の利便性の低下を指摘する意見が多数寄せられており、今後の改善が望まれる。

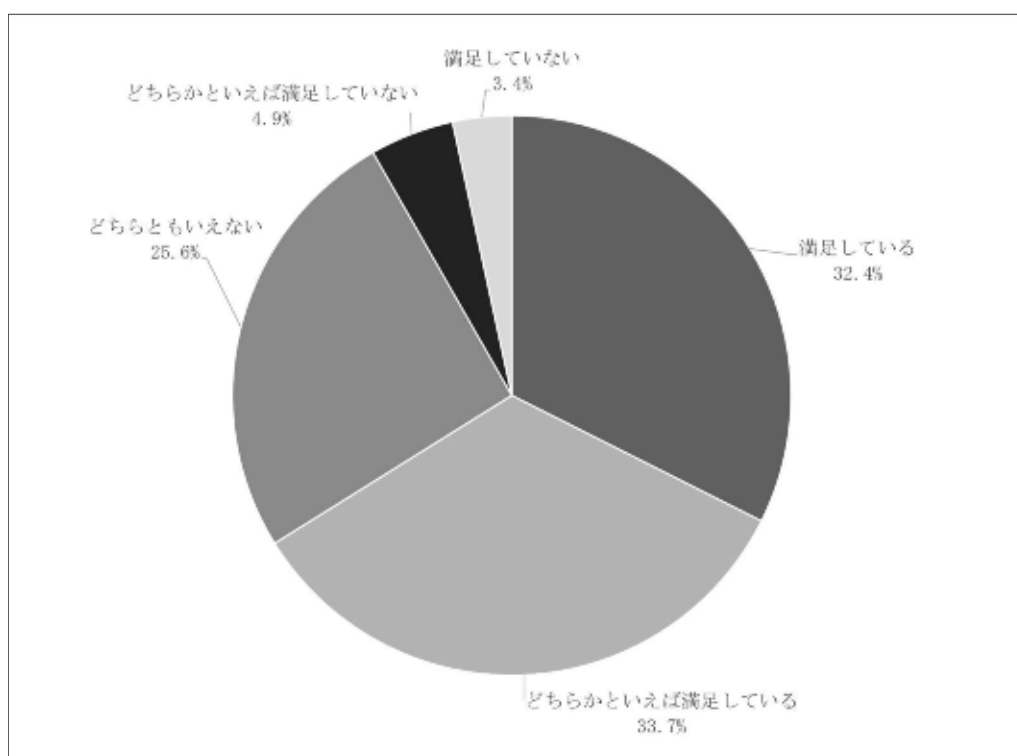


図 8-1-3 環境施設の満足度

8-2 図書館の利用頻度、利用目的及び満足度

試験期間以外での図書館の利用は、「ほとんど利用しない」が35.7%（前回20%）と最も多く、以下、「週に1～3日」が23.2%（前回29.6%）、「月に1～2日」(19.7%)（前回19.4%）、「月に3～4日」(14.8%)（前回18%）が続いた。前回調査時と比較して利用率が低下していることを示す結果となった。コロナ禍で大学に来る機会が減ったことや、コロナ禍に伴うマスク着用義務を具体的な不満点としてあげた学生が一定数いることなどから、コロナ禍に伴う影響が反映された可能性が高い。

図書館の利用目的については、「自習」が40.3%（前回35.3%）ともっとも多く、次いで「図書の貸し出し・閲覧」が30.4%（前回25.7%）であった。続いて「文献検索」が8.9%（前回8.2%）、「文献複写」が6.1%であった。前回7.6%であった「パソコンの利用」が2.6%と減少し、パソコンの個人所有が一般化している状況を反映していた（図8-2-1）。また、授業関連やグループ学習での利用は双方とも1%にとどまっており、図書館利用目的における自習の位置は依然高いものと思われる（図8-2-2）。また、パソコンやタブレットを用いて自習することが一般化したことを反映してか、電源のない機が多いことに対する不満が多数寄せられており、今後の改善が望まれる。その他自由記述での具体的な意見として、コロナ禍でカフェスペースが閉鎖されたことにより友人とリラックスして会話できる場所が失われたことを惜しむ声が多数あり、図書館には大学における学生の居住スペースというニーズが一定数あることが示唆された。

図書館の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると80.9%（前回82.8%）で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は1.5%（前回5.9%）であり、図書館の満足度は依然高く保たれているという結果となった（図8-2-3）。

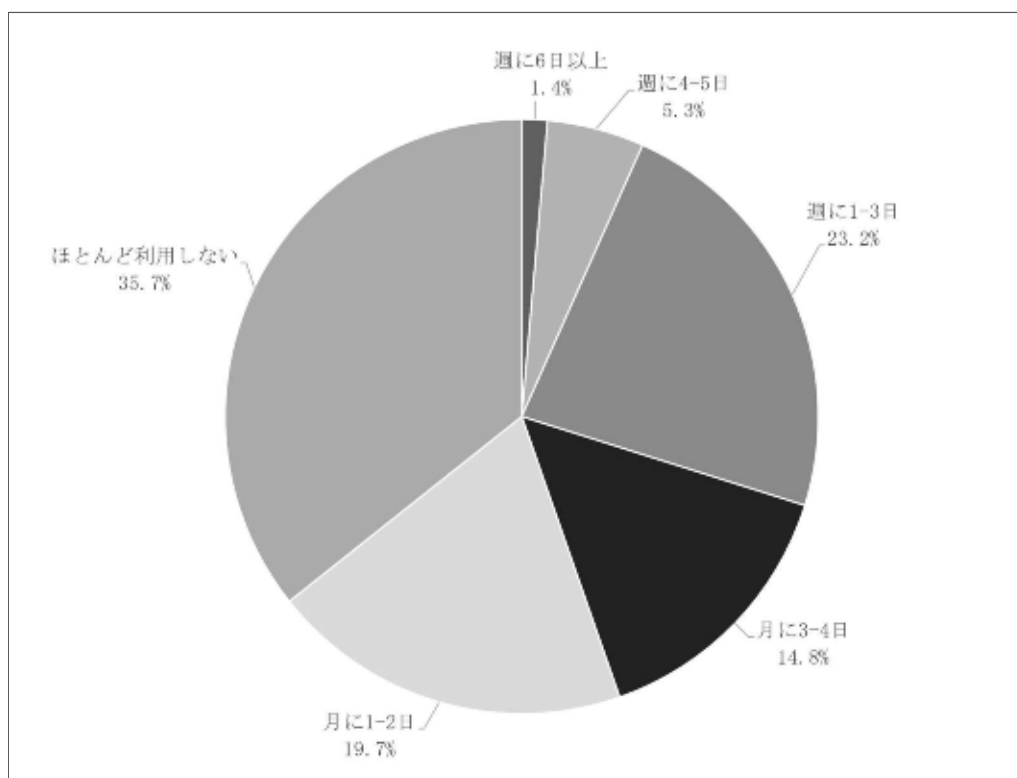


図 8-2-1 図書館の利用頻度

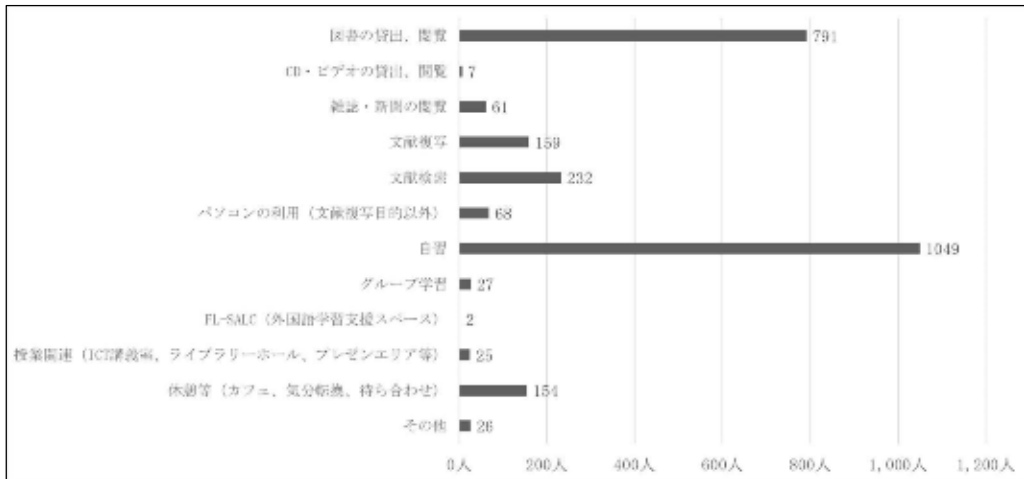


図 8-2-2 図書館の利用目的（回答3つ以内）

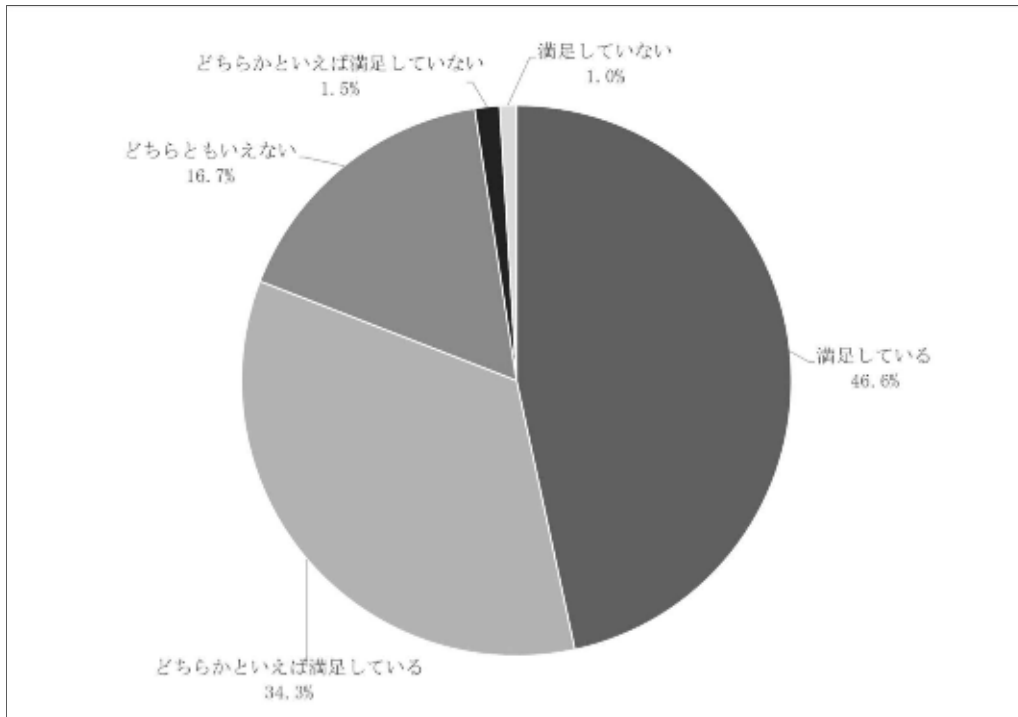


図 8-2-3 図書館の満足度

8-3 ICT環境（インターネット、メール等）

新潟大学のICT環境（インターネット、メール等）についての満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が66.2%（前回64.9%）で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は11.4%（前回10.4%）であった（図8-3-1）。これらより、ICT環境の満足度は高く保たれていると思われる。

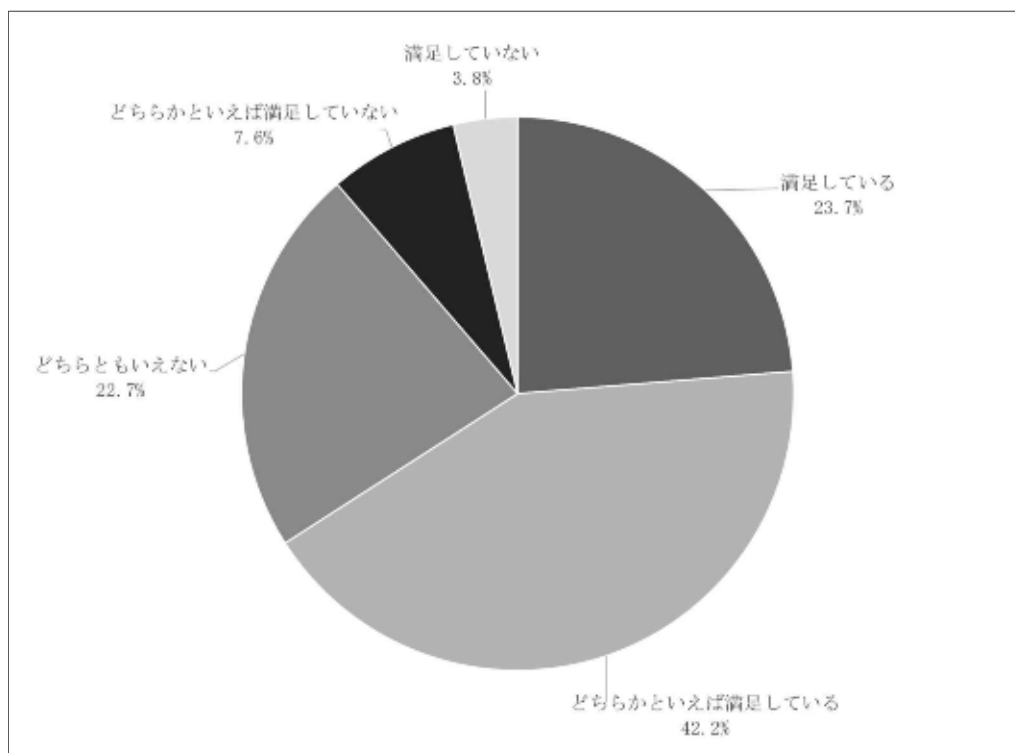


図 8-3-1 ICT 環境（インターネット等）の満足度

8-4 施設等に対する不満

新潟大学全体の施設等にどのような不満があるか、13の選択肢の中から3つ以内で選択してもらった結果を図8-4-1に示す。1位は「休憩場所がない」（17.3%）（前回1位：14.8%）、2位は「学生の横のつながりがない」（12.9%）（前回5位）、3位は「食堂が利用しにくい」（前回3位：9.1%）（前回10.0%）、4位は「授業以外に教員に接する機会が少ない」（8.9%）（前回7位）、5位は「校舎が汚い」（8.7%）（前回2位：10.2%）6位は「校舎の利用時間が制限されている」（8.3%）（前回4位：8.9%）であった。「特別な不満はない」と回答した者も12.3%（前回12.2%）あった。不満点として上位にランクされた項目は、前回調査においても上位にランクされていたが、「学生の横のつながりがない」「授業以外に教員に接する機会が少ない」がランクアップした背景には、コロナ禍でオンライン授業が中心になり、大学内

で学生同士あるいは学生と教員が対面で接する機会が激減したことがあると考えられる。

今後の改善策を考える上で、自由記述での具体的な意見として1位の「休憩場所がない」に関連した「雨天あるいは積雪時に休憩する場所がない」という意見と3位「食堂が利用しにくい」に関連して「旭町地区に学生食堂がないという」意見が一定数あったことが着目された。

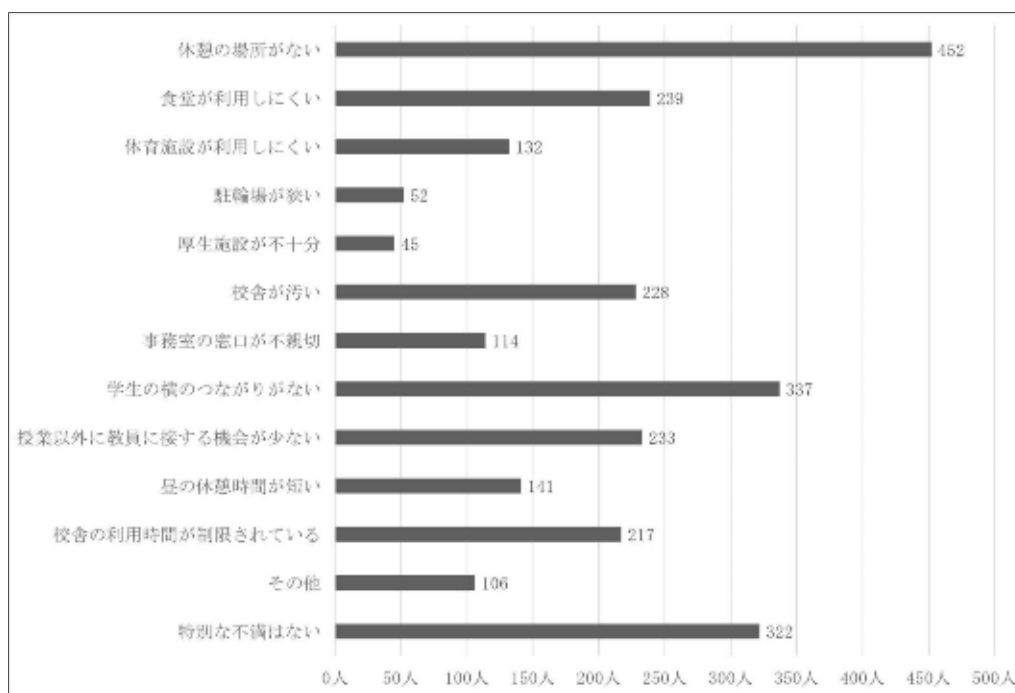


図 8-4-1 施設等に対する不満（回答 3 つ以内）

第9章 大学に対する意見・要望について

今回の調査では、以下のように、いくつかの設問に自由記述欄を設けた。

- ・ 問14 「課外活動施設の満足度」
→ 「どちらかといえば満足していない」又は「満足していない」：具体的な理由
- ・ 問18 「現在の悩み」
→ 「その他」：具体的な内容
- ・ 問28 「新潟大学の魅力」
→ 「その他」：具体的な内容
- ・ 問29 「所属する学部・研究科の教育・研究施設の広さや機能について」
→ 意見
- ・ 問32 「図書館について」
→ 意見
- ・ 問33 「食堂・厚生センター（新潟大学生生活協同組合）、体育館の機能について」
→ 意見
- ・ 問34 「駐輪場、広場、街灯の機能（質）について」
→ 意見
- ・ 問35 「ICT環境（インターネット、メール等）について」
→ 意見
- ・ 問36 「新潟大学全体の施設等に関する不満について」
→ 「その他」：具体的な内容
- ・ 最終設問「意見・要望」
→ 「各設問で回答した以外の意見・要望」

各設問に対する回答は、今後該当部署に情報提供し、必要に応じて対応を検討いただくこととしたい。ここでは、最終設問における意見・要望についてのみ掲載し、若干のコメントを付する。

なお、最終設問「意見・要望」の自由記述欄を記入した学生は、回答者全体の8.9%にあたる128人（平成30年度は10.7%にあたる111人）であった。これらの内容を次の8項目に分け、どの項目にも属さないものは「その他」に区分した。

1. 大学全般に関わるもの
2. 学部・研究科に関わるもの
3. 教育・研究に関わるもの
4. 課外活動に関するもの
5. 事務職員の対応に関わるもの
6. 施設の整備、利用に関わるもの
7. 福利・厚生に関わるもの
8. 本アンケートに関わるもの
9. その他

大学に対する意見・要望について

1. 大学全般に関わるもの

- ・ 1限が8時半開始は早すぎると感じる。
- ・ 1限の時間が早すぎて、電車が遅れたりすると絶対に間に合わない。
- ・ 1限の始まる時間が中学生並みの早さなことに驚いた。コマの間の休憩時間が長いのは大学構内の移動に時間がかかるからだと思い、その考慮には感謝しているがもう少し生活にゆとりのある時間間隔にしてもよいような気がする。ただ敷地が無駄に広すぎるため移動時間を削れないし校舎を縦に大きくするような改造でないと無理な話だと思うので諦めているが…。
- ・ 冬は登校時間がいつもよりかかるにも関わらず、1限が8時半からで変更がないこと。オンライン授業形態があるにも関わらず、大雪の影響で非対面式に変更ではなく休講という措置がなされた授業があったこと。無駄な補講を増やさないでください。
- ・ 授業実施形態について、冬の時期は今回の雪もそうですが、天候の影響で電車が止まったり、それに伴って休講になったりします。自分は実家から通っていて、1限が週4日であるため、6時半には家を出なければいけません。そのため、難しいかもしれませんが、前日には学務情報システムで翌日の講義の有無を通知いただくと助かります。また、実習などは仕方ないですが、オンラインで済む講義はオンラインでの実施を希望しています。感染症対策にもなりますし、冬は特に通学が厳しいです。ご検討頂けると幸いです。
- ・ 冬季積雪がある時に限り授業間の休み時間（移動時間としての）を20分にしてほしい
- ・ 授業時間などの構成が、近くに住んでいる学生向けだと思うことがあります。もう少し、通いも考えた時間割にしてほしいです。
- ・ 講義間の時間をもう少し長くしてほしい。
- ・ 授業が5限までであるにも関わらず、学務が17時までしか開いていないのは困る。
- ・ (学務情報システムに掲載される全体連絡への要望)
全学連絡通知が多すぎて処理しきれない時がある。多くの連絡の中に自身が必要とする連絡が紛れてしまい、見逃してしまうことがある。
全体に流す連絡の際は表題の書き方を統一するなどして一目でどこからの情報なのかが分かるようにしてほしい。(表題の冒頭に必ず【全体連絡であることを伝える文章、記号】をつける等)
- ・ 学務情報システムがアクセスが多くなり重くなるとレポートの提出などができないため大変不便。
- ・ 学務情報システムが重くて動かない時がある。
- ・ 学務情報システムのUIが使いにくい。
- ・ 学務情報システムの一回見た連絡通知にブックマークを付ける機能が欲しいです。
- ・ 証明書とかを所属する事務以外でも発行できるようにしてほしい。(ときめいとでできるならできるはず)
- ・ もっと電子上で申請できる書類が増えてほしい。いちいちキャンパス内に出向いて提出す

るのが、時間的な余裕があるときはいいが、その余裕がない場合とても不便。申請が全てPC内で完結出来たらとても便利だと思う。

- ・スマホアプリはもっと改善してください。学務情報のタブ押したら、webページに繋がるだけなら要らない。スマホアプリ内で完結するようにしてほしい。

【コメント】

- ・時間割、特に1限の開始時間をより遅くしてほしいとの意見が複数ある。これは前回、および前々回の調査にもあった。講義の開始時間を単に学生の要望で決めるべきではないが、今後機会があれば検討する価値はあると思う。また、次回の調査には開始時間についての設問を設けて広く調査をする必要があるかも知れない。
- ・今回学務情報システムについての要望が多かった。オンライン授業が多かったためだと思われる。要望の中には予算的な措置が必要なものもあるが、できるところから改善できれば良いと思う。

2. 学部・研究科に関わるもの

- ・医学部何もない。
- ・建築学プログラムの学生ですがCAD、イラストレーター、インデザイン等のアプリの講義が必要と考える。
- ・工学部での大判印刷についてサイトなどで検索すると「<https://reserva.be/kougakuryokureserve1>」がヒットし、大判印刷の予約などが、誰でもできるようになっているが、実際には研究費が必要であり、使用できる学生が限られている。研究費が必要であることは明記されているが、学生以外の誰でも簡単にサイトを見ることができ予約も簡単にできてしまうことが良くない。地図の表記も間違っており、災害・復興科学研究所の方へ案内され、そこで場所について質問してみても、職員間で周知されていないのか、「初めて聞いた」、「わからない」、「知らない」と言われるだけだった。

【コメント】

- ・学生の要望は多様化しており、事細かな説明やガイダンスが必要だと考える。

3. 教育・研究に関わるもの

- ・(講義を持つ教員への学務情報システムに関する要望)
授業連絡、個人連絡などを使い分けて、情報伝達がスムーズになるように改善してほしい。
- ・今後も1限は非対面で行ってほしい。
- ・たとえコロナ禍が落ち着いたとしても、単方向的な講義はわざわざ講義室に向いて聞かなくてもZoomで同等の学びを得られるため、オンラインで開講すべきである。実験や演習

などの双方向的な授業でない限りは学生とコミュニケーションをとる機会が少ないため、なおさら単方向講義はオンラインで開講していただきたい。

- すべて対面授業に切り替えるのではなく、オンライン授業も取り入れてほしい。
- 実験などを除いて、講義を対面・オンラインのどちらでも学生それぞれが好きを選んで受けられるようにしてほしいと思います。他の学生の存在や周囲の音がどうしても気になる対面での講義は集中力が持ちません。
- 対面にするなら全部対面にしていただきたい。対面と非対面が混合していて授業の移動等が難しい。
- 対面講義が少なすぎる、もっとイベントを活性化させてほしい。
- 2年間オンラインでまともな学生生活を送ったと全く思えないのですが、授業料とかがって返ってきたりしませんか。オンライン期間の説明も不十分としか思えません。
- オンライン授業ばかりなら授業料を減らしてください。これでは通信大学と何ら変わりありません。
- コロナでzoomでの授業となっていますが、学費は変わらずとなっています。どのような費用が取られているのか内訳も詳細にしたものを送ってほしい。
- 現3年生は入学当初から他の学年の生徒よりも質の低い教育内容(実習等が全て実施されないなど)を受けているのにも関わらず、同等の授業料を支払っている点。新潟大学は他の国立大学と比較しても対面授業に踏み切るのが遅かった。それに対してもなんの対処がないのが不満ではある。
- コロナにかこつけてZoom授業で教授が楽をしようとしているように感じるものがある。学費を払っているのだからそれ相応の授業はしてもらいたい。対面が少なすぎて新潟に引越してきた意味を感じない。
- コロナ禍で学校に行かなくなっても学費が同じだったのは納得いかないです。学校の設備を利用していないのに、どこにお金が使われているのかが不思議です。
- コロナ禍のオンライン授業によって大学の施設を利用していないので、その分の費用を返還してください。
- 大学側がコロナを過剰に怖がってる感じがします。オープンキャンパスや新大祭は外部の人も入れて対面でやってほしいです(ほとんどの大学は既にそうなってます)。そして疑問なのですが、新大祭の前日の日はなぜ休みではないのですか？ほかの大学では学祭の前日は休みだと聞いていて、本校だけ違うのは何か理由があるのでしょうか？
- 入学してからほぼ3年間、棒に振りました。前向きに対面授業をやってくれる大学に行けば良かったと思っています。
- 学費に見合った教育体制を整えてほしいです。
- 履修における抽選について、受たい授業を全然受けられない学生がいるという点を改善していただきたい。抽選だから致し方ない点もあるが、その授業を受けたいのに受けられず、次の機会に受けられる保証も無く、ただし単位を取得しなければ卒業出来ないために、取りたくもない授業を取らざるを得ない人が多く存在する。学費を払っているのに学んだ

いことを学べないのは、大学としては大きな問題ではないか。長々と意見を述べて申し訳ないが、新大生がもっと新大を好きに思えるように、どうかお願いしたい。

- ・教職について、教員に相談した際に、履修が足りてなかったのに「たりてるから大丈夫」的なことを言われたが、実際は全然足りてなくて気づいた時には履修登録期間が過ぎていたため来年度の負担があまりに多くなることになってしまった。教育学部以外で教職をとるにあたっての説明が教員間でも足りていないような気がした。
- ・成績順位を公開している学部としていない学部の違いをなくしてほしい（全て公開してほしい）。
- ・成績優秀者として選ばれる人数を増やしてほしい。
- ・もっと学生なり教員なりがメディアに出演したり、構内にテレビ取材とか来てもらってメディア露出を増やすべき。ホームページに掲載しても誰も見ないと思う。
- ・正直なところ、文系大学院生の扱いが雑なような気がしている。研究をするにしても、専門家の先生がいなかったり、文献をすぐに購入して頂けるようなシステムもなく、授業以外で他の学生に会うことも少なく、院生の研究室の机の割り当てもない。全部担当の先生任せみたいになっているところがあるように見受けられ、先生のキャパシティを超えたところの対応が何もない。本当に何のために大学院に進学したのかが分からなくなるときがある。
- ・先生の忙しさに合わせて、かけもちでもいいのですが専用で事務作業をしてくれる人を増やしたほうが良いと思います。
- ・先生方も電車通学など少し離れたところから通っている人のことを考えていないように感じる。
- ・前指導教員との関係でハラスメント委員会に現在相談中の学生ですが、対応に不満があり時間と体力ばかり持っていかれている気分です。また、ハラスメントの根絶には、各研究室のブラックボックス化（一教員の意思のみで運営される研究室体制）が問題だと思うのですが、これに対して大学側から対応する意思がない、あるいは気づいていないように感じ、大きく失望しています。
- ・大学院では研究する機関であるため教養の講義の取得単位数の削減を提言致します。例えば東北大学大学院の天文学専攻では、自身が専門とする専攻以外の講義の取得単位数が少ないため、その分を研究時間に当てることが出来ます。本大学院の他専攻の取得単位数は実際に修士課程で2年間在籍した実から、その負担が少し大きいように感じました。他専攻の単位は教養の意味合いを持たせているのかと存じますが、そうした他の講義を取るのは本人の興味に任せるべきであると考えます。
- ・経済支援を拡充してほしい。
- ・博士課程学生の授業料を原則免除にしてほしい。近年、大学・日本の科学力向上のために博士号取得が求められているが、9年間（学部4年+修士2年+博士3年）年53万円台の授業料を、最先端の研究を自身で進めながら納入することは難しい。せめて、免除申請のあった博士学生は収入や家庭状況に関わらず免除/減額対象にすることを検討してほしい。

私の場合、博士2年の今年入籍し夫の収入が金額上は加算されたが、互いの業務・研究の都合上別居しており、会計は全く異にしている。つまり、私自身の収入・所得に変化はなかったにも関わらず、入籍後の授業料免除申請は半額（入籍前は全額）免除であった。今回、免除申請者に入籍前の私よりも低収入の学生がいた等で相対的に免除額が変動した可能性も理解しているが、このままでは学費の獲得のために博士進学を進めているように思える（収入源として学生を見ている）。また、私は半額免除対象であったが、給付金（SPRING）を受けている同学年の友人は年間を通して免除が認められず全額授業料を納入していることを申し添える。

- PhDリクルート室のTwitterは微妙。博士課程の学生が欲しいなら、博士課程に行った方が将来安定だし、経済的、就職の問題も何も心配する必要がないことを示してあげないと集まらない。博士課程に行かない理由は将来に不安しかないって修士で就職したら同期が言っていた。博士課程へとリクルートしたいなら、現在の博士課程の学生をしっかりサポートして就職に成功させる等しないと。
- TAの給与はきちんと出すべき。うやむやになる時が多い。

【コメント】

- 授業の方法をオンラインにするか対面にするかについてさまざまな意見が寄せられた。今後オンラインの授業が全くなくなることはないと思うが、どれくらいの割合にするのか、ある程度全学で検討する必要があるかも知れない。
- コロナ禍での授業方法について、多くの不満があるようだ。なぜその授業方法が採用されているのか、学生に対する詳しい説明が必要だと思う。
- ハラスメントの対処に対する意見があった。「研究室のブラックボックス化」は重要な指摘だと思われるので、今後検討すべきだと考える。

4. 課外活動に関するもの

- もっと学内のイベントを充実させてほしい。運動会を開催したりしてほしい。新大祭も2022年度の者はひどすぎた。
- 新大祭がつまらない、学生に充実した大学生活を送らせようとする気がないように感じる。
- 部活動が出来る時間を増やしたい。例えば、空いている場所は事前予約をすれば使用可能にしてほしい。
- 体育祭など学内行事を増やして欲しい。

【コメント】

- 学内行事を増やす、また充実してほしいという意見がいくつかあった。これに関しては次回の調査でアンケートの項目に取り上げ、広く学生の意見を収集し、必要があれば検討すべきだと考える。

5. 事務職員の対応に関わるもの

- ・某事務室の男性の対応が威圧的で不快。対応の態度を改めてほしい。
- ・某事務室の学務係の方がかなり不親切で右も左も分からなかった初年度かつコロナ禍での入学においてより親切に分かりやすく説明してくださる職員さんでいてほしいと切に願っております。
- ・学務の対応が基本的に雑。
- ・コロナワクチンの接種券に関するトラブルの対応が1番酷かった。

【コメント】

- ・事務職員に対する意見は前回より減ったが、まだ不満の意見があるので、SDなどで意識を高める機会を作る必要があると考える。

6. 施設の整備、利用に関わるもの

- ・24時間利用できるスペースがあるとありがたい。
- ・大学内に24時間利用できる自習スペースが欲しい。
- ・授業と授業の空き時間に利用できる教室が少ないので増やしてほしい。
- ・もっと簡単に教室等を利用できるようにしてほしい。
- ・学内の図書館以外に、発言可能な自習スペース、短時間の休憩が取れる場所を開放してほしいです。
- ・自宅から持ってきたお弁当を、どこで食べたらいいいのか、食べられるのか、分からないので教えて欲しい。またはそうしたお弁当を食べてもいいスペースを施設内に作って欲しい。
- ・お弁当や買ったものを食べるスペースが外しかないので困る。
- ・自分で持参したお昼ご飯を室内で食べられるような場所が欲しい。
- ・1人でお弁当を食べることができる場所が欲しい。コロナの影響で講義室で食べることを許可されているのか否かはっきりしていないため仕方なく食堂を利用することになる。対面が増えたことはうれしいが、その分お昼を買ったり、学食で食べることになり自炊していた第1学期と比べて食費がかかる。
- ・学内にスーパーが欲しい。
- ・コンビニを増やしてほしいです。
- ・もっと構内に飲食店（サブウェイとかスタバとか丸亀製麺とか）があつて欲しい。
- ・仮眠スペースが欲しい。
- ・電子マネーで買える自動販売機が欲しい。
- ・給水・給湯器を各学部等や談話室に設置してほしい。
- ・夏に冷房が効きすぎて寒くなるのがよくあるので教員に適切な温度設定を呼び掛けるなどの対策を行ってほしい。
- ・総合教育研究棟の談話室の座席数を増やしてほしい。

- ・医学部図書館を利用する際に夜間、休日でも食事を取れるスペースが欲しいと思います。
- ・理学部棟にもっと自習スペースを設けて欲しい。
- ・校舎利用時間外に、学生証を使用して校舎内に入ることのできるシステムがあると便利だと思う。
- ・学部によって、学内設備の利用状況に大きな差があるにもかかわらず、学費が変わらないことに少々不平等感がある。
- ・サークル活動用の施設の老朽化が著しい。
- ・体育館にカーテンをつけて欲しい。
- ・体育館に冷暖房がないのが辛いです。扇風機を設置していただき快適になりましたが、冬は暖房設備が何もないので怪我もしやすくなるため改善していただけますと幸いです。
- ・トレーニング施設を開放してほしい。
- ・第一グラウンドの地面がボコボコで、野球をするとイレギュラーだらけになるので整地してほしい。また、ブルペンも土がえぐれて機能を有していないので、新潟大学で試合ができるくらいの全面的な改修をして欲しい。
- ・第三体育館にトイレがなく、第二体育館を経由しなくてはいけないのが非常に不便です。
- ・学内に駐車をする場所がないです。コインパーキングもあまり多くないためにいつも止めることができるわけでもないです。月極駐車場に停めれば良いと言われても月5日くらいしか停めない場合はもったいない気がします。学内に駐車ができる場を少しでも設けていただけるとありがたいです。
- ・学部生にも駐車場利用権を融通して欲しい、市外から通う県内生は不遇である。
- ・実家から通学してくる学生は多いと思うので、車通学（構内駐車場の利用）を可能にしてほしい。
- ・五十嵐と旭町にキャンパスが分かれてるのは融合研究とかの観点から見てももったいない。文系の学部とか大型実験装置とか有さないのなら、古町の旧三越の建物にでも移転すべき。
- ・使っていない部屋や退官された教員の部屋があるなら博士学生に振り当ててもいいのでは。退官された方は速やかに出てもらうべき。退官時期はわかっているのだから、それまでに整理すべき。退官後から1年かけて整理するのは意味がわからない。
- ・授業を行う場所が分かりづらいので、キャンパス全体の地図だけでなく、それぞれの棟内でどこに教室があるかなどの説明があるキャンパスを作ってほしい。そしてそれをネットで見つけやすいところに載せてほしい。
- ・除雪設備の充実をお願いします。
- ・正門から降りて花壇を設置されると自転車と歩行者が衝突しやすいので非常に邪魔です。交通の便を少しは考えてから設置するように願います。
- ・総合教育棟と理学部棟の間にある池？はなんなのでしょうか。
- ・大学の理念である「教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与」に照らし合わせると、その達成には学内のみならず、外との交流が必須であることは明らかです。

そうしたことを念頭に考えると、交流先の場所でのインターネット環境に恵まれない状況というのは多くの意味で機会損失に繋がりがねず、大変もったいなく思います。そのため学部4年生と修士課程の学生に対しても希望者がいればeduroamのアカウントを発行していただきたく強く要望致します。何卒ご検討の程よろしくお願い致します。

- ・学生寮が学校の端の端にありすぎる。移動が面倒。
- ・六花寮・五十嵐寮裏の不法投棄が後を絶ちません。先日有難いことに大学のお金を投入して以前から積み重なっていた粗大ゴミを撤去していただきましたが、早くもゴミが投棄されています。しかも洗濯機など明らかに部外者によるものと思われる大型ごみも多く見受けられます。当局も既に対策を考えてくださっているとは思いますが、いたちごっこにならないような対応をよろしくお願いします。

【 コメント 】

- ・実際に施設を使用する学生の意見は重要と考えられるので、日常的に学生の意見を吸い上げるシステムを作る必要があると考える。
- ・体育館やグラウンドなどの体育施設に対する意見がいくつかあった。これも、利用する学生の意見をできるだけ反映された改善ができると良いと思う。

7. 福利・厚生に関わるもの

- ・旭町キャンパスに学生食堂を作ってほしい。
- ・学食営業時間を伸ばして欲しい。
- ・購買の営業時間がもう少し長いとありがたいです。
- ・食堂のメニューやパンの情報をTwitterだけでなく、インスタでも配信してほしい。
- ・総合教育研究棟2階の自販機、使えるようにしてほしい。(イチゴオレがある自販機)

【 コメント 】

- ・前回の調査同様、食堂に対する意見が多かった。直接生協に伝えるべき意見もあったが、大学としても食堂を学生の福利・厚生の重要な施設と位置付けて注意を払うべきだと考える。

8. 本アンケートに関わるもの

- ・この調査における回答フォーマットについて要望があります。始めの方の設問では、家賃などの金額について答える際は〇〇千円とする旨が記述されていましたが、後半の方の1か月における本や雑誌などの購入費用を解答する際は3000円や5000円などと算用数字を用いて回答する旨が記述されていました。この二つが混在しているのは回答する際に多大なストレスであるため、後者の形式に統一された回答フォーマットをよろしくお願いします。
- ・最初の入力を千円単位にした理由が理解できない、入力が面倒くさかった。

【コメント】

- ・前回の調査ではアンケートの設問が多すぎるという不満が挙げられていたが、今回はかなり改善したと思う。指摘された点は次回の調査で検討すべき点として、しっかりと引き継ぐ必要がある。

9. その他

- ・この回答に関して、個人特定等が無く、不利益が無いことを望みます。あくまで、新潟大学の質向上のために、ご回答しました。
- ・五十嵐での生活はつまらないから、もっと学生が繁華街に出た方が良いと思うし、街の経済にも影響できると思う。
- ・新潟大学の問題ではないが、新潟大学の周りに面白い施設が何も無い。
- ・新潟大学前駅から遠すぎる。
- ・大学の近くにスーパーマーケットをつくってもらいたい。
- ・大学の敷地内を猫で満たしてほしい。
- ・大学周りのカラスをどうにかしてほしい。
- ・学生だからといって下に見られているような態度を何度もとられた。
- ・学生の自転車の乗り方が危険極まりない。
- ・騒音に関連するが、大学周辺のアパートでお酒を飲んだせいか深夜の2時や3時、4時などに大声で騒ぎながら通る人がいて迷惑している。通報を入れて様子を見ても直る気配がないので、大学の方でも夜10時以降は騒がないよう今一度、注意喚起をしてほしい。
- ・誰かわからないが教員が研究室内でタバコ吸っていると思う。廊下に匂いが漂っている。
- ・中門や西門の外で喫煙している人がいるので、禁止にするのではなく喫煙所を作って欲しい。
- ・門で喫煙者がいてかなり不快に感じる。
- ・路上喫煙について。中門では主に生徒が、西門ではバス運転手や教職員の路上喫煙が日常的に、毎日、見受けられる。生徒への注意喚起のメールはよく見るが、バス会社や教職員にも注意喚起や意識を広める運動をしているのか疑問である。バス会社については、特に抗議するよう求める。
- ・入学式などで新入生を狙った怪しい団体が正門で勧誘を行っていた。危ないので対策を行ってほしい。
- ・夜間の無灯火、一時不停止、右側の逆走、歩道の走行、スマホ運転、バスの直前での追越し、後方確認をせず車道に出る、等等、、
- ・円安やウクライナ侵攻による影響等で、光熱費の高騰、食料や日用品の値上げが後を絶たず、社会全体として苦しい状況が続いている。それは、私たち大学生にとっても同じ状況で、仕送りにも限界があり、アルバイトをするにも体力面や授業との兼ね合いで限界があるため、金銭事情は得にも厳しい。大学として、学生のためを考えるのであれば、学生の負担を減らす方策をもっと積極的に打ち出して欲しい。例えば、先にも示したように、学

食の価格の見直しを行うことなどが挙げられる。他にも、教科書を買うにしても1冊数千円するものを5、6冊買うなんていう状況にある人を何人も見かけているが、どうにかならないものか。大学生にとって、5000円ですらものすごく痛い。授業に必要なだから仕方ないでは済まないほど、お金で苦しむ学生がいることを理解していただきたい。

- ・教職員が心を入れかえるべきではないか。コロナ対応に関して、学務が方針の裏でインチキばかり企んだせいで、学生生活が必要外に制約されている。その結果、学生生活への不満がたまり、夜中に騒ぐ学生やいじめが急増したように思う。
- ・見通しの悪い交差点で減速させずに走り抜ける自転車は特に見ていて恐ろしい。ルールを守っている自転車も多いはずだが、危険な自転車もかなり多い。
- ・大変お世話になりました。

【コメント】

- ・喫煙に関する意見がいくつかあった。特にバスの運転手の喫煙は、駐車場が禁煙ならば、会社に申し入れるのは意味があるかも知れない。
- ・その他、さまざまな意見があった。すぐに改善できないものも多いが、それぞれの担当部局、担当者で問題意識が共有されることが大事だと考える。

【最後に】

全ての調査に言えることですが、調査を実行して集計しただけでは何の意味もありません。調査の結果が広く教職員に共有され、学生の問題意識を理解し、教職員の資質向上や施設設備の充実がなされて、初めて有効な調査になると思います。学生からの意見を真摯に受け止め、新潟大学が少しでも良い大学になるようできる限りの努力が望まれます。

最後にこの調査に協力して頂いた学生の皆様に感謝いたします。

※個人の特定に繋がるような記載については、一部表記を修正いたしました。

令和4年度 学生生活実態調査調査票

設問		回答対象	回答の選択肢
1. 所属学部・研究科等について			
問1	どの学部・研究科に所属していますか。	【全員】	1 人文学部 2 教育学部 3 法学部 4 経済学部・経済科学部 5 理学部 6 医学部医学科 7 医学部保健学科 8 歯学部 9 工学部 10 農学部 11 創生学部 12 教育実践学研究所 13 現代社会文化研究科（前期課程） 14 現代社会文化研究科（後期課程） 15 自然科学研究科（前期課程） 16 自然科学研究科（後期課程） 17 保健学研究科（前期課程） 18 保健学研究科（後期課程） 19 医歯学総合研究科（医）（修士課程） 20 医歯学総合研究科（医）（博士課程） 21 医歯学総合研究科（歯）（前期課程） 22 医歯学総合研究科（歯）（後期課程） 23 医歯学総合研究科（歯）（博士課程）
2. 住居・通学・食事について			
問2	現在の住居はどちらですか。	【全員】	1 実家 2 実家とは別の住居
問3	運転免許を取得していますか。	【全員】	1 取得している 2 取得していない
問4-1	朝食はどのように食べていますか。 （主なものを1つ選んでください）	【全員】	1 自炊 2 住居で提供がある（家族等が用意、食事付きマンション等） 3 飲食店（学食を除く。）で飲食 4 学食で飲食 5 テイクアウト（スーパー、コンビニ、持ち帰り専門店等での購入、宅配等を含む。） 6 食べない 7 その他
問4-2	昼食はどのように食べていますか。 （主なものを1つ選んでください）	【全員】	1 自炊 2 住居で提供がある（家族等が用意、食事付きマンション等） 3 飲食店（学食を除く。）で飲食 4 学食で飲食 5 テイクアウト（スーパー、コンビニ、持ち帰り専門店等での購入、宅配等を含む。） 6 食べない 7 その他
問4-3	夕食はどのように食べていますか。 （主なものを1つ選んでください）	【全員】	1 自炊 2 住居で提供がある（家族等が用意、食事付きマンション等） 3 飲食店（学食を除く。）で飲食 4 学食で飲食 5 テイクアウト（スーパー、コンビニ、持ち帰り専門店等での購入、宅配等を含む。） 6 食べない 7 その他
3. 収入・支出について			
問5	奨学金を受給していますか。	【全員】	1 受給している 2 受給していない
問6-1	奨学金の受給額（月額）はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問6-2	家計支持者から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問6-3	アルバイト収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問6-4	その他（【問6-1】～【問6-3】以外）の収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問7-1	住居費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問7-2	食費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問7-3	勉学費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問7-4	娯楽・被服費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問7-5	その他雑費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	
問7-6	預貯金のための1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	【全員】	

設問	回答対象	回答の選択肢
4. アルバイトについて		
問8	大学入学後アルバイトをしたことがありますか。該当するものすべてを選んでください。	【全員】 1 長期のアルバイトをしたことがある（している） 2 短期のアルバイトをしたことがある（している） 3 休業期間中に限ってアルバイトをしたことがある 4 全くしたことがない
問9	（【問8】でアルバイトをしたことがある（している）と答えた人） アルバイトの1週間平均就労時間は何時間くらいですか。	【該当者】
問10	（【問8】でアルバイトをしたことがある（している）と答えた人） 【問】 アルバイトをした中で、ブラックバイト（新型コロナウイルスの影響を除く。）と感じるようなことがありましたか。該当するものすべてを選んでください。	【該当者】 1 一方的に急なシフト変更を命じられた 2 一日6時間を超えても休憩時間が与えられなかった 3 採用時に約束したシフト以上のシフトを入れられた 4 準備や片付けの時間の賃金が支払われなかった 5 一方的にシフトを削られた 6 休憩時間に仕事や来客があり、休憩できなかった 7 募集していた労働条件が実際の労働条件と異なっていた 8 給与明細をもらえなかった 9 暴力や嫌がらせを受けた 10 時間外労働の割増賃金が支払われなかった 11 休日労働の割増賃金が支払われなかった 12 退職を申し出ても、退職させてもらえなかった 13 深夜労働（午後10時～午前5時）の割増賃金が支払われなかった 14 最低賃金以上の賃金が支払われなかった 15 賃金が約束の日（所定支払日）に支払われなかった 16 採用時に約束した職種以外の職種を命じられた 17 商品やサービスの買い取りを強要された 18 会社の都合で一方的に解雇された 19 賃金額を一方的に引き下げられた 20 賃金から一方的に罰金や損害賠償金を徴収された 21 その他（具体的に
5. 課外活動について		
問11	現在、サークル（部）に加入していますか。 該当するものすべてを選んでください。	【全員】 1 学生会所属の文化系サークルに加入している 2 学生会所属の体育系サークルに加入している 3 学生会以外の学内文化系サークルに加入している 4 学生会以外の学内体育系サークルに加入している 5 学外の文化系サークルに加入している 6 学外の体育系サークルに加入している 7 学内外のいずれのサークルにも加入していない
問12	（【問11】でサークルに加入していると答えた人） サークルに加入した理由はどれですか。該当するものすべてを選んでください。	【該当者】 1 団体活動に興味がある 2 活動内容が好きだから、または興味があるから 3 知識・教養を得るため 4 免許等の資格を得るため 5 健康増進のため 6 友人を得るため 7 就職のことを考えて 8 レクリエーションとして 9 特技向上のため 10 社会貢献のため 11 特別な理由はない 12 その他
問13	（【問11】でサークルに加入していると答えた人） サークル活動している時間は、1週間あたり平均何時間ですか。	【該当者】
問14	（【問11】でサークルに加入していると答えた人） 課外活動施設の満足度はどうですか。	【該当者】 1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
(問14)	（【問14】で「4 どちらかといえば満足していない」もしくは「5 満足していない」と答えた人）具体的な理由を記入してください。	【該当者】
6. 健康・悩み事について		
問15	紙タバコや加熱式タバコ・電子タバコを喫煙していますか？	【全員】 1 喫煙していない 2 紙タバコのみ喫煙 3 加熱式タバコ・電子タバコのみ使用 4 紙タバコと加熱式タバコ・電子タバコを併用
問16	1年以内に大学の敷地内で受動喫煙を受けたことがありますか？	【全員】 1 建物外である 2 建物内である 3 ない (複数選択可)
問17	どのくらいの頻度でお酒を飲みますか？	【全員】 1 ほぼ毎日 2 週に3～5日 3 週に1～2日 4 月に2～3日 5 月に1日以下 6 それ以下の頻度 7 お酒は飲まない

	設問	回答対象	回答の選択肢
問18	現在、悩んでいることはありますか。 (3つ以内で悩みの多い順に選んでください。)	【全員】	1 悩みはない 2 勉学上のこと 3 家庭のこと 4 異性関係のこと 5 友人のこと 6 指導教員との関係 7 将来の進路のこと 8 健康上のこと 9 経済的なこと 10 自分の性格のこと 11 セクシャル・ハラスメント 12 アカデミック・ハラスメント 13 近隣住民との関係(騒音等) 14 その他
問19	ハラスメント(種類は問わず)と感じるようなことを受けたことはありますか。	【全員】	1 ある 2 ない
問20	(【問19】で「1 ある」と答えた人) 受けた行為はどれですか。該当するものすべてを選んでください。	【該当者】	1 セクシャル・ハラスメント 2 アカデミック・ハラスメント 3 パワー・ハラスメント 4 アルコール・ハラスメント 5 その他
問21	学生なんでも相談窓口でハラスメントの相談ができることを知っていますか。	【全員】	1 はい 2 いいえ
問22	学生のみなさんのいろいろな悩みや困りごとについての相談に応じられる「特別修学サポートルーム」や「学生支援相談ルーム」を知っていますか。	【全員】	1 両方知っている。 2 特別修学サポートルームのみ知っている。 3 学生支援相談ルームのみ知っている。 4 両方とも知らない。
問23	悪徳商法、詐欺等の被害に遭ったことがありますか。被害に遭った場合は、その後の対応はどのようにしましたか。該当するものすべてを選んでください。	【全員】	1 ない 2 家族に相談した 3 友人・先輩に相談した 4 教員・事務職員に相談した 5 学内の相談窓口で相談した 6 学外の相談窓口で相談した 7 誰にも相談しなかった 8 解消方法がわからない 9 その他
7. 大学生生活について			
問24	学業以外(サークル活動、アルバイトを除く)の過ごし方はどれですか。主なものを3つ以内で選んでください。	【全員】	1 スポーツ 2 旅行 3 音楽を聴く 4 カラオケで歌う 5 楽器をひく 6 読書 7 新聞を読む 8 YouTubeを見る 9 娯楽雑誌を読む 10 映画を見る 11 テレビ・ビデオを見る 12 芝居・演劇をみる 13 ゲームをする 14 室内娯楽(マージャン等) 15 散歩・ショッピング 16 SNSを見る 17 パソコン 18 ドライブ・ツーリング 19 釣り 20 ぼんやり過ごす 21 友人とおしゃべり 22 ボランティア活動 23 その他
問25	外国旅行をしてみたいですか。	【全員】	1 はい 2 いいえ
問26	読書(漫画、雑誌を除く。)について、1か月の本の購入金額はどのくらいですか。	【全員】	
問27	全体として新潟大学での大学生生活に満足していますか。	【全員】	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
問28	新潟大学のどんなところに魅力を感じますか。主なものを2つ以内で選んでください。	【全員】	1 大学の特色・学風 2 大学の風土 3 キャンパスが広い 4 キャンパスに緑が多い 5 充実した設備 6 充実したスタッフ 7 その他
(問28)	(【問28】で「7 その他」と答えた人) 具体的な内容を記入してください。	【該当者】	
8. 大学の施設・設備について			
問29	所属する学部・研究科の教育・研究施設(研究室、実験室、講義室等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。	【全員】	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
(問29)	(所属する学部・研究科の教育・研究施設(研究室、実験室、講義室等)の広さや機能(質)について) 意見があれば、記入してください。	【自由記述】	
問30	図書館をどの程度利用しますか。	【全員】	1 週に6日以上 2 週に4-5日 3 週に1-3日 4 月に3-4日 5 月に1-2日 6 ほとんど利用しない

設問		回答対象	回答の選択肢
問31	図書館の利用目的は何ですか。主なものを3つ以内で選んでください。	【全員】	1 図書の貸出、閲覧 2 CD・ビデオの貸出、閲覧 3 雑誌・新聞の閲覧 4 文献複写 5 文献検索 6 パソコンの利用（文献複写目的以外） 7 自習 8 グループ学習 9 FL-SALC（外国語学習支援スペース） 10 授業関連（ICT講義室、ライブラリーホール、プレゼンエリア等） 11 休憩等（カフェ、気分転換、待ち合わせ） 12 その他
問32	図書館についてどのように感じますか。	【全員】	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
(問32)	(図書館について)意見があれば、記入してください。	【全員】	
問33	食堂（新潟大学生生活協同組合）、厚生センター（新潟大学生生活協同組合）、体育館の機能（質）についてどのように感じますか。	【全員】	【項目別回答】 1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
(問33)	食堂（新潟大学生生活協同組合）、厚生センター（新潟大学生生活協同組合）、体育館の広さや機能（質）について意見があれば、記入してください。	【全員】	
問34	駐輪場、広場、街灯の機能（質）についてどのように感じますか。	【全員】	【項目別回答】 1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
(問34)	駐輪場、広場、街灯の機能（質）について意見があれば、記入してください。	【全員】	
問35	新潟大学のICT（Information and Communication Technology）環境（インターネット、メール等）についてどのように感じますか。	【全員】	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
(問35)	(新潟大学のICT（Information and Communication Technology）環境（インターネット、メール等）について)意見があれば、記入してください。	【全員】	
問36	新潟大学全体の施設等についてどんな不満を持っていますか。主なものを3つ以内で選んでください。	【全員】	1 休憩の場所がない 2 食堂が利用しにくい 3 体育施設が利用しにくい 4 駐輪場が狭い 5 厚生施設が不十分 6 校舎が汚い 7 事務室の窓口が不親切 8 学生の横のつながりがない 9 授業以外に教員に接する機会が少ない 10 昼の休憩時間が短い 11 校舎の利用時間が制限されている 12 その他 13 特別な不満はない
(問36)	(【問36】で「12 その他」と答えた人)具体的な内容を記入してください。	【該当者】	
9. その他			
	上記で回答した以外に、意見・要望があれば、以下に記入してください。	【自由記述】	